



会誌

No.523

2025 夏号

一般社団法人
名古屋工業会

こころ

2025年度 定期総会報告

2024年度 学位記授与式

2025年度 入学式

N.I.T.リレー

支部総会開催のお知らせ

総会・講演会のお知らせ

支部総会報告

名工大歴史館開催のお知らせ

支部見学会報告

交流サロン報告

ゴルフ大会報告

活動報告

表彰者紹介

交流コーナー

随筆



「令和6年度東海大学対抗テニスリーグ戦」にて1部リーグに昇格したときの記念写真



CONTENTS

2025年度 定期総会報告

・定期総会/会員総会/特別講演会/懇親会	1
・2025年度 定期総会・会員総会次第	2
・定期総会理事長挨拶/会員総会会長(学長)挨拶	3
・2025年度 役員名簿	4
・2024年度 収支決算書	5

2024年度 学位記授与式

・導入	6
・2024年度 学位記授与式 式辞(学部)/2024年度 学位記授与式 名古屋工業会理事長の来賓挨拶	7

2025年度 入学式

・導入	9
・2025年度 名古屋工業大学 学部入学式 式辞	10
・2025年度 新入学の皆さんへのメッセージ	11

N.I.T.リレー

支部総会開催のお知らせ

・2026年度 名古屋工業会大阪支部総会のご案内	12
--------------------------	----

総会・講演会のお知らせ

・2025年度 計測会総会・講演会のご案内	14
-----------------------	----

支部総会報告

・2024年度 三河支部総会報告	15
・2025年度 尾張支部総会報告	16

名工大歴史館開催のお知らせ

	17
--	----

支部見学会報告

・2025年 大阪支部「春季歴史探訪の会」開催報告	18
---------------------------	----

交流サロン報告

・第19回 大阪支部交流サロンの開催報告(Web講演)	19
-----------------------------	----

ゴルフ大会報告

・第141回 名工大ごきそ会報告/第262回 名工大東京支部ゴルフ大会報告	21
---------------------------------------	----

活動報告

・計測会2024年度の取り組み	22
・ごきそ技術士会2024年度 活動報告	23

表彰者紹介

・叙位叙勲受章者	25
----------	----

交流コーナー

随筆

・ウィーンの不思議	25
・製造業のDX推進の切り札として取引伝票等全てに「QRコード印字」を提案	28

その他

・ごきそで脳トレ!クロスワード 解答	裏表紙
--------------------	-----

2025年度 定期総会報告

2025年5月24日(土)に名古屋市東区のメルパルク名古屋において、2025年度名古屋工業会定期総会、会員総会、特別講演会を開催しました。代議員60名、役員等28名、一般会員5名が出席しました。また、大学からも小畑学長(会長)をはじめ井門理事、柿本理事、磯貝理事、大日方監事が来賓参加されました。

定期総会

一般社団法人名古屋工業会定期総会は、3階のカトレアの間において、14時から開催されました。仁科常務理事の司会で開催し、横山理事長からの挨拶の後、理事長を議長として、成立状況の確認、議事録書署名人の指名を行いました。議事は、第1号議案「2024年度事業報告及び収支決算について」、第2号議案「2025年度事業計画案及び収支予算案について」、第3号議案「代議員の選任について」、第4号議案「役員を選任について」の順に審議され、各議案とも全会一致で原案どおり議決されました。

会員総会

初めに横山理事長の挨拶があり、次いで小畑学長(会長)から挨拶がありました。続いて、定期総会の決議事項の紹介、退任役員への感謝状の授与、卒満者の紹介がありました。

特別講演会

名古屋工業大学 社会工学科経営システム分野 渡辺研司教授から「重要インフラに求められるサイバー・フィジカルセキュリティ ～地域内プロフェッショナル連携で日本を牽引する中部・東海地域～」と題し、ご講演いただきました。ご講演内容に参加者の多くが引き込まれ、講演終了とともに大きな拍手がわき上がりました。

懇親会

懇親会は、3階のサルビアの間において、17時20分から開催されました。小山理事の司会で進行し、横山理事長の挨拶の後、来賓の井門名古屋工業大学理事の乾杯の発声により会は始まりました。旧交を温めての歓談の後、岩田前理事、各年代の卒満者代表の挨拶がありました。最後に学歌を合唱し、河邊副理事長の音頭で1本締めを行い、盛会のうちに終了しました。



定期総会の様子



懇親会の様子

2025年度 定期総会／次第

1. 議事

(決議事項)

第1号議案 2024年度事業報告及び収支決算報告について

第2号議案 2025年度事業計画案及び収支予算案について

第3号議案 代議員の選任について

第4号議案 役員の選任について

(報告事項)

第5号議案 その他

2025年度 会員総会／次第

1. 理事長挨拶 一般社団法人名古屋工業会理事長

2. 会長挨拶 国立大学法人名古屋工業大学学長

3. 報告事項 定期総会での決議事項の報告

4. 行事

●叙勲受章者へ記念品贈呈(敬称略)

甲村和三

●名古屋工業大学卒業満70、60、50、40周年の会員へ記念品贈呈(敬称略)

(70年-昭和30年卒)-31名

C 栗山 剛志 始4名	A 平田 仁史 始4名	M 岡田 秀幸 始6名	E 不破 幸雄 始3名
W 水谷 正 始4名	D 友松 英爾 始4名	Y 島田 晴人 始2名	K 吉岡 輝雄 始4名

(60年-昭和40年卒)-109名

C 松井 健二 始12名	A 荒木 利貞 始8名	M 川嶋 紘一郎 始31名	E 小沢 容 始6名
W 市橋 洋志 始11名	D 水谷 栄一 始10名	Y 片岡 宏治 始6名	K 河辺 彰 始12名
F 宇佐美 貞夫 始8名	B 北村 健治 始5名		

(50年-昭和50年卒)-61名

C 北川 貴志 始4名	A 吉村 尚 始7名	M 藤本 靖孝 始8名	E 大森 正 始8名
Es 河合 章 始2名	W 木下 隆利 始2名	D 磯野 恵一 始7名	G 西川 嘉一 始3名
Y 尾野 吉則	K 浅野 幹雄 始7名	F 寺倉 修 始6名	B 仁科 健 始6名

(40年-昭和60年卒)-92名

C 藤田 素弘 始13名	A 藤林 喜美	M 永田 武司 始18名	E 三宅 正人 始12名
Es 向坂 直久 始8名	W 鯉江 和俊 始4名	D 伊藤 龍美 始15名	G 小竹 健司 始3名
Y 浅野 俊介 始6名	K 富川 貴志 始2名	F 浅野 啓三 始6名	B 柳瀬 昇 始2名
J 吉田 豊子 始2名			

●特別講演

講師：渡辺研司氏 名古屋工業大学 社会工学科(経営システム分野)教授

演題：「重要インフラに求められるサイバー・フィジカルセキュリティ

～地域内プロフェッショナル連携で日本を牽引する中部・東海地域～」

5. 懇親会

定期総会／理事長挨拶

理事長の開会の挨拶では、遠路会議に出席された会員の皆様、役員、代議員へのお礼とともに「現状からみえてくる課題と対応」と題するスライドにより、理事長自ら報告・説明がありました。スライド内容は次のとおりです。

●「現状からみえてくる課題と対応」

約2万人の会員の分布について、概ね35歳前後を境にそれ以上と以下の年齢で会員が半数ずつになっており、入学手続き時の終身会員への入会が始まってからの会員(31歳以下)では8～9割が正会員になっています。出身地域については、名工大の入学者は愛知県を中心に80%が東海地域で、就職先も50%以上が東海地域に本社がある企業になっています。このため今後の工業会の地方支部の運営の在り方が問題になってくると考えられます。

工業会財政は収入の90%が終身会費で、支出は学生支援、会員増強・広報・支部支援、管理経費等がそれぞれ3分の1程を占めています。現在は収支のバランスはとれているものの、入学手続きの情報化の進展、学費の値上げの機運などに予断を許さない状況があります。年齢層別にみると、入学手続き時の終身会費は保護者が負担していると思われ、そのため学生会員、若手会員の会員意識が希薄になっています。ベテラン会員については職域活動の低迷などにより、年会費会員が低下していますが、正会員でなくても、支部、単科会、部活OB会などの活動を通じて名工大卒業生としての意識が高い人も少なくありません。

以上を踏まえ、今後取り組むべきこととして次の5点を掲げたいと思います。

- | | |
|-------------------|--------------------------------|
| 1 学生会員、若手会員の活動活性化 | 4 ベテラン会員をもっと仲間に |
| 2 会員の消息把握の強化 | 5 職域活動の活性化 |
| 3 活動財源の安定化 | (紙面の都合によりスライドの掲載は控えさせていただきます。) |

以上

参考 関連事項は名古屋工業会ホームページをご覧ください。

<https://www.nagoya-kogyokai.jp/>



会員総会／会長(学長)挨拶

最初に総会が盛会に開催されていることへの祝意と多数の出席者へのお礼が述べられ、スライドにより名古屋工業大学の近況等について学長自ら報告・説明されました。スライドの内容は次のとおりです。

●名工大の近況

入試状況ですが、学部は、18歳人口が減少している中でも志願者が4倍程度あり安定した状況となっています。女子入学者は21.6%あり、工学系では全国トップクラスです。大学院教育については、国の高度情報専門人材確保に向けた取組みにより、30名の入学定員純増がありました。博士課程については、サポートの充実を図っていきます。

対外的な取組みとして、鶴舞公園の隣に愛知県が設けたスタートアップの拠点「ステーションAI」に名工大の常設スペースを確保しました。この施設には多くのスタートアップ企業があり、我が国の産業に貢献していくものです。また、東海・信州国立大学連携プラットフォームを通じて博士人材育成を推進していきます。

教育研究活動を通して本学の教員は今年も数々の受賞をしています。学生も課外活動のみならずキャンパスベンチャーグランプリ、ビジネスプランコンテストなどで高い成績を残しています。

●国立大学がおかれている状況について

18歳人口が減少しており、2040年には現在の3分の2程度となります。中教審は、1人当たりのパフォーマンスを上げることで、「知の総和」を維持していくことを提言しています。このため国立大学は学部規模の適正化、修士・博士への重点化、大学の連携及び、再編・統合の検討とともに、地域を牽引する大学へのシフトが求められています。これを受け、これから本学がどのように持続的に発展していけるか、様々な声を聴きながら検討しているところです。

●大学への支援のお願い

2024年度は個人・団体より1,250件、約1億1千万円のご支援をいただきました。御礼申し上げます。今年度も大学基金への寄付、特定基金への寄付、ネーミングライツ事業などへの協力などをお願いします。ふるさと納税でも名工大への支援ができるようになっていきます。よろしくお祈りします。

(紙面の都合によりスライドの掲載は控えさせていただきます。)

参考 関連事項は名古屋工業大学ホームページをご覧ください。

名古屋工業大学概要 <https://www.nitech.ac.jp/intro/about/bulletin.html>

名古屋工業大学レポート <https://www.nitech.ac.jp/intro/report.html>

名古屋工業大学への寄付のお願い <https://www.nitech.ac.jp/kikin/>



2025年度 役員名簿

第3号議案 代議員の選任について
第4号議案 役員の選任について

理事 (10)	横山 裕行 K49	○藤本 英雄 院 M47
	○入矢 桂史郎 C52	堀口 大輔 C59
	○太田 宏和 FB ②	河邊 伸二 A59
	仁科 健 B50	名和 修司 C59
	大鏑 史男 F49	小山 裕康 A54
監事 (2)	森 秀樹 D52	川村 信之 E53
相談役 (9)	藤原 俊朗 K31	牛込 進 Y33
	篠田 陽史 M33	二杵 幸夫 K39
	木越 正司 C44	水嶋 敏夫 M42
	岡崎 格郎 A46	内藤 克己 A43
	加川 純一 K49	
参与 (3)	北村 正 Es48	森川 民雄 W45
	大鹿 秀正 F47	
顧問 (6)	宇佐美 貞夫 F40	北村 健治 B40
	加藤 作次 C40	伊藤 要蔵 B42
	清水 益文 F44	水谷 尚美 D42
支部長 (22)		
北海道	山平 英夫 C43	
東北	羽鳥 明満 C57	
東京	○入矢 桂史郎 C52	
甲信越	若林 俊樹 M56	
静岡	石塚 基一郎 C54	
三河	○太田 宏和 FB ②	
名古屋	○藤本 英雄 M47	
尾張	小久 江智之 M53	
岐阜	各務 剛児 C53	
北陸	○加戸 孝太郎 B49	
三重	○真弓 明光 C59	
大阪	堀口 大輔 C59	
兵庫	○當舎 良章 SC ③	
岡山	野村 幸宣 C54	
広島	大田 一夫 C47	
山口	岸田 潤三 C58	
山陰	糸賀 輝穂 C51	
香川	藤川 智 E52	
徳島	福井 雅彦 A52	
愛媛	馬越 陽一郎 C58	
高知	山崎 健司 A54	
九州	吉村 尚 A50	

代議員 (94)		
北海道 (1)	佐川 正人 C53	
東北 (1)	鈴木 聡 C57	
東京 (7)	○永田尚人 C57	○鈴木 孝彦 A59
	三浦 太朗 EC ③	大久保 智明 D57
	戸澤 宏一 M55	飯沼 義昭 B46
	北村 明弘 K53	
甲信越 (2)	若林 俊樹 M56	樋口 順 C48
静岡 (2)	玉木 利幸 C52	向坂 直久 Es60
三河 (12)	川口 貴弘 F ⑤	神谷 貴臣 ZW ⑩
	沼澤 成男 M59	岩田 忠三 M59
	佐藤 文昭 ZK ⑤	出崎 亨 K61
	○太田 宏和 FB ②	○辻 朋之 ES ⑥
	○森山 誠 ZY ⑬	北 朋弘 FB ⑥
	伊藤 雅幸 D ⑨	小川 寛徳 D ⑤
名古屋 (30)	山口 啓 C49	兼岩 孝 C54
	藤田 素弘 C60	○坂本 敏彦 SC ①
	○佐藤 正裕 SC ②	杉戸 厚吉 A53
	○杉澤 和男 A55	○中藺 昭彦 A58
	富田 庸公 Mb ①	武内 博明 Mb ①
	○岩塚 真之 E56	青木 陸 EJ ④
	○松井 俊浩 EJ ⑦	○泉地 正章 W44
	○伊藤 哲夫 W45	吉木 満 W56
	中野 達夫 G50	○村瀬 由明 D53
	伊藤 龍美 D60	野々山尚志 Y63
	橋本 忍 ZY ②	横山 雅行 K52
	○山中 諭 K56	○前田 千芳利 K57
	守田 賢一 F47	西村 良博 F48
	大鏑 史男 F49	○松原剛宏 B61
	横山 淳一 FB ⑥	○松尾 啓志 J58
尾張 (8)	伊藤美保 D44	○山中 昭廣 Y44
	小久江 智之 M53	山口 初一 E56
	大竹 昌志 C54	○伊藤 彰啓 D58
	魚住 弘一 D53	○古川 輝久 D59
岐阜 (7)	桐井 光人 C59	田中 清之 A54
	堤 喜治 M45	田中 秀和 Es48
	山田 孝夫 W48	笹島 康 Y39
	兼松 克司 K42	
北陸 (2)	黒田 茂 M47	吉岡 正盛 B58
三重 (4)	里 宏幸 C56	○伊藤 利浩 D ④
	新堂 紳一郎 C58	満仲 朗夫 C59
大阪 (5)	川越 英二 E47	坪田 博隆 M51
	西川 嘉一 G50	小山 明 A59
	○出口 義国 G57	
兵庫 (2)	西川 芳久 C47	○植田 康之 M ⑩
岡山 (2)	虫明 正博 K59	○佐々木 秀臣 SU ⑥
広島 (1)	○田頭 豊 M47	
山口 (1)	川上 為夫 W42	
山陰 (1)	湊口 民弥 A52	
香川 (1)	前川 浩一 SC ⑩	
徳島 (1)	福井 一博 A46	
愛媛 (1)	小松 浩樹 CM ⑳	
高知 (1)	山内 健 C53	
九州 (2)	平野 富広 F58	吉村 尚 A50

○：新任候補者

2024年度 収支決算書

2024年4月1日から2025年3月31日

1. 収入の部

(単位:円)

勘定科目	決算額 (A)	予算額 (B)	増減 (A-B)
1) 事業収入等	5,605,508	5,815,000	△ 209,492
(1) 財産利子収入	1,739,708	1,650,000	89,708
(2) 会誌広告収入	51,000	350,000	△ 299,000
(3) 駐車場賃貸収入	3,814,800	3,815,000	△ 200
(4) 寄付金収入	0	0	0
2) 入会金、会費収入	76,482,000	74,170,000	2,312,000
(1) 入会金収入	37,000	30,000	7,000
(2) 年度会費収入	1,385,000	2,000,000	△ 615,000
(3) 終身会費収入	74,940,000	72,000,000	2,940,000
(4) 賛助会費収入	120,000	140,000	△ 20,000
3) 雑収入	42,028	40,000	2,028
(1) 雑収入	42,028	40,000	2,028
4) 積立預金取崩収入	0	0	0
5) 前期繰越収支差額	948,000	948,000	0
(1) 前期繰越収支差額	948,000	948,000	0
収入の部合計	83,077,536	80,973,000	2,104,536

※1 ごきそ広告方法の変更に伴い広告募集を停止 ※2 年度会員から終身会員への移行 ※3 学部生・大学院生の入会の増、※2の年度会員から終身会員への移行

2. 支出の部

(単位:円)

勘定科目	決算額 (A)	予算額 (B)	増減 (A-B)
1) 事業費	57,607,669	54,800,000	2,807,669
(1) 大学支援事業	28,039,634	28,050,000	△ 10,366
ア 教育研究支援	2,335,310	2,350,000	△ 14,690
イ 学生支援	25,504,324	25,700,000	△ 195,676
ウ その他支援	200,000	0	200,000
(2) 工業会の充実のための事業	28,052,717	25,250,000	2,802,717
ア 会員増強活動	7,740,073	6,800,000	940,073
イ 広報活動	8,606,759	8,000,000	606,759
ウ 支部活動	9,437,766	9,000,000	437,766
エ 会員慶弔	2,218,119	1,400,000	818,119
オ 講演会	50,000	50,000	0
(3) 収益事業	1,515,318	1,500,000	15,318
ア 駐車場賃貸	1,515,318	1,500,000	15,318
2) 管理費	20,648,869	21,100,000	△ 451,131
(1) 総会経費	2,857,887	3,100,000	△ 242,113
(2) 管理諸経費	17,790,982	18,000,000	△ 209,018
3) 積立預金繰入支出	4,000,000	5,000,000	△ 1,000,000
(1) 指定定期預金及債権(終身会費)	4,000,000	5,000,000	△ 1,000,000
4) 次期繰越収支差額	820,998	73,000	747,998
(1) 次期繰越収支差額	820,998	73,000	747,998
支出の部合計	83,077,536	80,973,000	2,104,536

※1 令和6年奥能登豪雨被災地への簡易住宅設置支援金 ※2,3 ごきそリニューアル・全正会員への配布に伴い関連費用の増加、入会案内等の作成

※4 卒業周年の記念品の支払に関する時差 ※5 ※2,3により、関連費用が増加したため

※なお、総会資料全文が必要な方は、名古屋工業会ホームページ(事務局)をご覧ください。

<https://www.nagoya-kogyokai.jp/jimukyoku>

◎定期総会の決議事項は、すべて原案どおり了承されました。 理事長 横山 裕行

2024年度 学位記授与式

※発刊の都合により、定期総会の報告と前後しますが、以下学位記授与式、入学式について報告します。

名古屋工業大学 2024 年度学位記授与式が 2025 年 3 月 26 日（水）、名古屋市公会堂大ホールに於いて、午前には学部、午後に大学院に分かれて、卒業生及び保護者が出席して厳かに開催されました。

式典は、小畑学長をはじめ、大学役員、横山裕行名古屋工業会理事長等来賓が列席し、名古屋工業大学管弦楽団による演奏で開式、学長から学位記が授与されました。続いて学長式辞、各学科等の代表らによる答辞が述べられました。

最後に合唱団によって学歌が合唱され、学位記授与式を終了しました。



2024年度 学位記授与式 式辞(学部)

国立大学法人名古屋工業大学長 小畑 誠

卒業生の皆さん、そしてご家族、ご来賓の皆さま、本日は名古屋工業大学の学位授与式にご参列いただき、誠にありがとうございます。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうでございます。皆さんが本日ここに立つまでの道のりは、決して平坦ではありませんでした。その努力と忍耐、そして希望を持ち続けられたことに、心から敬意を表します。

皆さんは、2020年から2023年にかけて、COVID-19の爆発的な流行の中で大学入試から学生生活を過ごされた世代です。あの時期、社会全体が混乱し、自由な交流や活動が制限される中で、学び続けること自体が大きな挑戦だったと思います。本学においてもオンライン授業、研究や実習の制約、そして孤独感——それぞれの環境で困難を乗り越え、本日の卒業式を迎えられたことは、皆さんの強さと適応力を物語っています。

COVID-19の爆発的な流行の時期を通じて、私たちは「本当に大切なものは何か」について深く考える機会を得ました。科学や技術の重要性はもちろんのこと、人と人とのつながり、社会全体の連帯感の大切さが浮き彫りになりました。皆さんはこの経験を通じて、ただ専門的な知識を得ただけではなく、複雑な課題に対処する力や、変化に対応する柔軟性を身につけられたのではないのでしょうか。

私たちは「心で工学」を理念に掲げています。技術者や研究者としての能力を発揮するだけでなく、人間としての誠実さや責任感を持って社会に貢献することが、この理念の本質です。工学の力で社会に貢献する際には、常にこの理念を心に留めてください。本学で多くのことを学んできた皆さんにわたしからの願いは、「誠実であれ」、ということです。生きていくうえで誠実さに勝る武器はありません。これから先、人生の中で再び大きな試練に直面することがあるかもしれませんが、それを心にとめておいてください。

私たちは皆さんの未来に大きな期待を寄せています。そして、人生100年時代と言われるいま、このさきぎぎで名古屋工業大学はいつでもあなた方を応援し、ささえるプラットフォームであることを忘れないでください。どうぞいつでもこの場所に戻り、次なる挑戦の糧を得てください。

卒業生の皆さんの未来が、希望に満ち、光り輝くものでありますよう、心よりお祈り申し上げ、わたしの式辞といたします。本日は誠におめでとうでございます。



2024年度 学位記授与式 名古屋工業会理事長の来賓挨拶

一般社団法人名古屋工業会理事長 横山 裕行

卒業おめでとうございます。

入学当初は、新型コロナウイルス感染症が拡大していたころ、色々なご苦労があったかと思います。それを乗り越えられてきた皆さんの努力に敬意を表したいと思います。また、工業会賞を受賞されたみなさん、ほんとうにおめでとうでございます。さらに技術を磨き、高みを目指していただきたいと思います。

また、ご家族の皆様には今日の良き日を迎えられたことをお慶び申し上げます。

卒業生の諸君は、先生方の指導はもとより、御家族の支えあってこそこの日を迎えられたことと思います。ぜひ、感謝の意をお伝えいただけたらと思います。

さて、本学の先輩は、様々な分野で活躍しております。そのお陰で産業界から本学は高い評価をいただいています。皆さんには、ぜひ、先輩に続いていただきたいし、後輩のためにも頑張ってもらいたいと思います。さらには、就職される方には楽しい社会生活を送ってもらいたいと思います。

上級課程に進まれる方もおられると思いますが、心がけてほしいことを述べさせていただきます。それは、「自ら考え、自ら行動する」ということです。私が会社に入って若手のころによく言われたこと、また、自分が上司になって若手に注意するときによく言うことが、「もっと頭をつかいなさい」、「よく考えなさい」、「自分の足で稼ぎなさい」、「もっと汗をかきなさい」です。



社会に出ますと様々な課題に取り組むこととなりますが、どうアプローチしていくのかということに正解はありません。ともすれば、思い付き、行き当たりばったりのアプローチで行き詰まってしまうことが大変多くあります。どういうプロセスで取り組むのか、そのためには何を準備すべきか、さらにプロセスを進めるときは小さな決断、判断の連鎖です。何が必要かを考え、そのための情報・知識を得ておくことが大切です。もちろん AI、DX などを活用し、効率的に進めることも大事ですが、丸写しをしては自分の財産にはなりません。AI も学習するから進化するわけです。皆さんも幅広く深く自ら考え、自ら行動を続けることで成長できると思います。ときには失敗もあるし、手戻りもあることでしょう。しかし、結果としては自分の経験、財産になるので、ぜひチャレンジしてください。

そのためにやっておいたほうが良いことを2つ紹介します。1つは自分に投資をしてください。時間とお金を惜しまずに勉強を続けてください。進学される方は、資格をとってもらっても、語学を極めてもらっても良いと思います。社会に出ると自分が学んだ専門領域以外の知識も必要になってきます。学校では皆さんがお金を払って教えてもらいます。会社では、立場が替わって、皆さんの成果、パフォーマンスに対して会社が給料を払います。会社には必要な研修もありますが、自らのポテンシャル、パフォーマンスを上げるためにぜひ研鑽を続けてほしいと思います。野球でもイチロー選手、大谷選手の普段の努力はすごいと思います。自分の可能性に蓋をせず、学び続け、ぜひ進化を続けてほしいと思います。

2つ目は、人間性を磨いて幅広い人脈をつくってほしいと思います。会社の仕事は団体戦です。一人でなんでもできるスーパー社員やスーパーエンジニアはほとんどいません。上司や部下、あるいは社内の関係部署、取引先、所轄の官庁など、周りの人たちとコミュニケーションをとり、連携を良くすることで大きな成果につながります。そのために人間としての魅力を磨いてください。将来はリーダーとして、引っ張っていける人材になってほしいと思います。

最後に、皆さんは卒業され名古屋工業会のメンバーになります。このことは忘れないように頭の片隅においてほしいと思います。名古屋工業会の活動に関心をもってもらいたいし、時々ホームページも見てください。機会があれば、工業会のイベントへの参画もお願いします。

これから就職される方は、職場には先輩がいるはずですが、声がかかるとは思いますが、かからなかったら探してください。人脈づくりできると手助けをしてくれるはずですが。

最後になりましたが、みなさんの今後の益々のご活躍をお祈りして、お祝いの言葉に替えさせていただきたいと思います。頑張ってください。

名古屋工業会賞の授与

名古屋工業会賞の贈呈が2025年3月26日(水)に名古屋工業大学学位記授与式において、横山理事長から次の19名に表彰状と記念品(刻銘入り腕時計)が贈呈されました。

名古屋工業会賞は、第一部、第二部の各学科卒業生のうち、在学中の学業成績が極めて優秀であり、豊かな感性を持ち他の学生の模範となる学生に対して、学長の推挙に基づき贈呈するものです。

贈呈者

(第一部)

生命・応用化学科	杉本 しおん、岡島 さゆり、山崎 翔瑛、松岡 良弥
物理工学科	浅田 竜生、木村 駿一郎
電気・機械工学科	大森 瑛介、福島 啓太、山田 香織、菅田 成人
情報工学科	佐々木 康太、東 政澄、高木 真人
社会工学科	灰田 凌、稲垣 真生、松井 千鶴
創造工学教育課程	大橋 かえで、大原 一将

(第二部)

物質工学科	中根 青空
-------	-------



2025年度 入学式

名古屋工業大学 2025 年度入学式が 2025 年 4 月 6 日 (日)、名古屋市公会堂大ホールにおいて、午前に大学院、午後には学部に分かれて、2 部制で執り行われました。

式典は、小畑学長をはじめ、大学役員、横山名古屋工業会理事長等来賓が列席し、管弦楽団の奏楽で開式しました。

小畑学長から工学部 975 名、大学院工学研究科博士前期課程 771 名、博士後期課程 51 名、総数 1,797 名の入学が許可され、各代表が勉学・研究に専念する旨を宣誓した。続いて、小畑学長から入学者歓迎の式辞が述べられました。

最後に、新入生を歓迎して名工大管弦楽団が学歌を演奏し、入学式を終了しました。

保護者には 4 階ホールにて保護者説明会が開催され、小畑学長の挨拶の後、日原副学長から名工大の特徴、入学から就職までの大学生活をサポートする体制について説明が行われました。また、仁科名古屋工業会常務理事から全学同窓会である名古屋工業会について説明があり、保護者に本会への理解と協力を求めました。



2025年度 名古屋工業大学 学部入学式 式辞

国立大学法人名古屋工業大学長 小畑 誠

新入生の皆さん、名古屋工業大学へようこそ。

今日この日に、みなさんを名古屋工業大学にお迎えすることができることは、教職員、在学生、卒業生、そして本学に関わるすべての人々にとって大きな喜びであります。

また、ご列席のご家族、ご親族のみなさまにも心からのお喜びを申し上げます。皆さまのご支援があったからこそ、今日のこの新たな門出があります。

名古屋工業大学は、1905年に創立され、120年の歴史と伝統を誇る大学です。その間、約8万人の卒業生が工学を通じて社会に貢献し、産業の発展や技術革新に寄与してまいりました。このような伝統を受け継ぎながらも、私たちは常に未来を見据え、時代に応じた教育と研究に挑戦し続けております。

本学のスローガンである「心で工学」には、単なる技術者としてではなく、人々の生活や社会のあり方を深く思い、工学の力でより良い未来を創造するという志が込められています。このスローガンは、皆さん一人ひとりが、単に知識やスキルだけでなく、豊かな人間性や社会性を育むことを大切にしてほしいという私たちの願いそのものです。

新入生の皆さん、これからの大学生活は、自分自身の可能性を大きく広げる絶好の機会です。これまで経験したことのない学問や研究、そして新しい仲間たちとの出会いが、皆さんをさらなる成長へと導くでしょう。自分が慣れ親しんだ環境にいることは心地よいことかも知れませんが、どうか恐れることなく、新たな挑戦に踏み出してください。

かつてアメリカの最高裁判所判事として活躍したルース・ベイダー・ギンズバーグ、RBGと呼ばれた彼女のことばをここでご紹介します。彼女が1956年にロースクールに入学した当時、女性は極めて少なく、厳しい視線にさらされました。それでも彼女は多くの困難をのり越えてトップクラスの成績で卒業し、法曹界で輝かしい功績を残しました。その彼女はこう言っています。

「本当に大切なのは、自分が何をしたいのかを知り、それを貫く勇気を持つこと。」

失敗を恐れず、試行錯誤を重ねる中で、人間は成長していきます。若い皆さんには、試行錯誤を重ねる特権があります。その特権を存分に活かし、自らの限界を決めずに挑戦し続けてください。

また、RBGが母からの教えとして守り続けた、「怒りに支配されるな」という言葉があります。皆さんがこれから出会う新しい環境の中では、時には困難なことや理不尽なことに直面するかもしれません。しかし、そのときこそ、冷静に学び、考え、行動することが大切です。皆さんの未来は、自分自身の手によって切り拓かれていきます。ぜひ、自分の道を見つけ、信念を持って進んでください。

最後になりますが、これから始まる大学生活が、皆さんにとって充実したものとなることを心から願っています。

自らの信じる道を進み、挑戦し続ける精神を忘れずに、名古屋工業大学の一員として、共に学び、成長し、未来を築いていきましょう。

あらためて、本日は誠にありがとうございます。



2025年度 新入学の皆さんへのメッセージ

一般社団法人名古屋工業会理事長 横山 裕行

名古屋工業大学ならびに大学院に入学された皆さん、誠におめでとうございます。

日々の努力が実り晴れの日を迎えられたことに敬意を表したいと思います。また、日々のサポートをされてこられたご家族、関係者の皆様方もほっとされておられると思います。是非、学生諸君からも感謝の言葉を伝えていただければ幸いです。

今年も桜が満開の下、入学式に参列させていただきました。学生諸君の若く希望に満ちた姿を拝見し、大変心強く感じた次第です。

さて、名古屋工業大学の全学同窓会である名古屋工業会は、当校の前身である名古屋高等工業学校が創立された10年後の大正10年(1915年)に同窓会組織として設立され、現在に至るまで100年以上に亘って活動しています。工業会の活動は「輝く母校と同窓会の絆を願って」をスローガンに「大学支援」と「会員相互の親睦」を事業の柱としています。

大学支援では学生諸君が海外へ短期留学する際の財政的な支援や工大祭や部活動のサポート、また皆さんが社会に出るために役立ててもらおうべく、OBやOGを招いたセミナーの開催なども行っており、今後は企業の若手OB、OGとの交流会も企画するなど学生生活を実りあるものとしたいとの思いから様々な活動を展開しています。

また、工業会は全国に22の支部を持ち、支部単位でも皆さんの先輩方が様々な活動をされています。今はあまり実感がないかもしれませんが、色々な形で先輩、仲間と交流を持つことはこれからの人生において大変有益だと思います。入学に当たり多くの皆さんが工業会に入会いただき感謝していますが、是非これから我々の仲間に加わっていただくことを期待しています。

工業会は年に1回ですが、会誌の「ごきそ」の冊子を学生諸君に配布している外、ホームページも開設していますので時々のごぞいでいただければ幸いです。

さて、足元ではトランプ関税の件で不安が広がっています。彼の思いは米国の製造業を復活させ強いアメリカを取り戻すことのように、世間でも言われているようにそう簡単に行くとは思いません。自動車、鉄鋼、造船などかつて栄華を誇った業界も大苦戦しています。産業構造の変化もあるでしょうが、やはり“ものづくり”に対する人への投資や育成を怠ってきたツケのような気がしてなりません。

振り返って日本の現状を見てみると将来今の米国と同じような道をたどるのではないかと一抹の不安を感じています。諸外国のように資源にめぐまれた国ではないので新たな技への取り組みやより先進性の高い“ものづくり”への歩みをスピードをもって進めてもらいたいものです。

この原動力となるのが入学された皆さんを始めとする若いエンジニアです。是非高い好奇心とチャレンジ精神で勉学に励んでいただきたいと思います。社会人になるとなかなか時間的に余裕が持てなくなります。学生のうちに様々なことを貪欲に経験してもらいたいと思います。

最後になりますが、将来の自分の財産となる人脈作りを心掛けてください。私自身も人生を振り返ってみて大学に限りませんが学生時代に様々なつながりを持った人達と今でも交流していますし、社会人時代も随分助けてもらいました。一人でできることには限界があります。より多くの人とコミュニケーションを取り人脈を広げることで、より大きな成果を生み出すことが可能となり、人生も豊かなものとすることができます。

当会でも同窓の先輩との様々な交流の場も企画していきますので、多くの諸君の参加を歓迎いたします。

健康第一で実りある学生生活を過ごされることをお祈りします。



N.(仲間と) I.(いつまでも) T.(つながろう)リレー

総会などの開催予定や
各支部及び単科会等の
活動について御紹介します。

支部総会開催のお知らせ

2026年度 名古屋工業会大阪支部総会のご案内

名古屋工業会大阪支部 支部長 堀口 大輔 (C59)

皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

2026年度大阪支部総会を下記の通り開催します。より多くの方に参加いただくため、会場開催をメインとしながら、ネット参加併用のハイブリット方式にて開催します。

今年度は、母校副学長の岩崎誠先生 (E61) にお越し頂き、昨年ご逝去された和歌山ご出身の松井信行元学長 (E41) を偲びつつ、母校の産学連携関係のご講演をお願いしております。

また、総会後には懇親会を開催します。短い時間ではありますが、顔を見ながら話し、旧交を温める喜びを感じていただければと思います。

どうぞ、同窓の方に声をかけていただき、今まで参加されたことのない方、遠方の方もお気軽にご参加ください。他支部からの参加も大歓迎です。懇親会のみでもご遠慮なくご参加ください。

申し込みは、2025年9月19日(金)までをお願いします。

記

1. 日時

2025年10月4日(土)14:00～16:15(懇親会:16:30～18:00)

2. 開催場所

(1) 会場:「中央電気倶楽部」 511号(西館) (通常120名の会場)

大阪市北区堂島浜2-1-25 <https://www.chuodenki-club.or.jp/map/annai.html>

(2) Web参加:使用予定ツール Cisco Web Meetings

①Webミーティングの接続は13:30から可能にします。

②Web参加予定者の方には、事前にWebex ミーティング招待状を送信します。

③Web参加予定者の方には、事前に接続確認(予行演習)のWeb会議をいたします。

接続確認の予定日は、参加予定者の方に追ってご連絡いたします。

3. スケジュール

第1部 支部総会 14:00～14:50

①支部長挨拶、ご来賓挨拶

②2025年度活動結果・決算報告、2026年度活動計画・予算の審議

③その他

第2部 講演会 15:00～16:15

「名工大の産学連携共同研究活動～松井元学長のご功績を偲んで」(仮題)

名古屋工業大学副学長 岩崎 誠先生

4. 懇親会

16:30～18:00 中央電気倶楽部 食堂にて 立食形式

5. 参加費用

6,000円(令和卒業生は3,000円、但し、令和7年卒業生、学生、Web参加無料) ※総会・講演会のみ参加の場合 無料

6. 申し込み方法その他

- (1) 下記の連絡先へメールにて、ご連絡ください。卒業学科、卒年、氏名、連絡先、ご来場か、Web参加かを連絡ください。
- (2) 懇親会不参加の方は、参加費用は無料です。
- (3) Web会議参加予定者の方に、Webex ミーティング招待状を送信します。
- (4) 連絡先 Web会議の参加方法などのご質問・提案は堀口または総務委員長小山まで連絡ください。
堀口 090-9169-4563 d-horiguchi@kcc.zaq.ne.jp
小山 080-3575-0648 akira_koyama@sanyohomes.co.jp

7. 申し込み締め切り

2025年9月19日(金)までに各単科会等連絡窓口迄ご連絡ください。

●申し込み先

単科会名	連絡先	メールアドレス
CE会	堀口 大輔(C59)	d-horiguchi@kcc.zaq.ne.jp
光鮫会	寺田 憲二(AH03)	kenji-terada@osakagas.co.jp
巴会	掛田 健二(M45)	akeyan.ken@gmail.com
電影会	荻原 義也(E50)	ogihara_yoshiya@nissin.co.jp
双友会	小山 征治(W42)	qtmx47101@ares.eonet.ne.jp
緑会	竹村 邦和(G57)	kuny.takemura@zeus.eonet.ne.jp
名窯会	川島 謙(Y44)	ken-kawashima@sound.ocn.ne.jp
名晶会	高岸 成典(K52)	tkgssgnr@leto.eonet.ne.jp
計測会	坂尾 健司(F55)	k.sakao.tns@gmail.com
経友会	川上 久光(B53)	santawadareda@gmail.com
学生会員	堀口 大輔(C59)	d-horiguchi@kcc.zaq.ne.jp
事業委員会	川越 英二(E47)	kawagoe2017@outlook.com
若手・女性部会	坪田 博隆(M51)	h.tsubota.183@nitech.jp

●Web(Cisco Webex Meeting)会議の参加について

-システム概要-

Cisco Webex Meeting

<https://www.webex.com/ja/video-conferencing.html>

Webex Meetings Suite システム最小要件

<https://help.webex.com/ja-jp/nki3xrq/Webex-Meetings-Suite-System-Requirements>

Webex ミーティングへの参加

<https://help.webex.com/ja-jp/nrbgeodb/Join-a-Webex-Meeting>

以上

総会・講演会のお知らせ

2025年度 計測会総会・講演会のご案内

計測会役員 野村 正裕 (F55)

下記の通りご案内いたします。講演会、懇親会には計測会員以外の方も歓迎いたしますので、是非、お気軽にご参加ください。計測会員の方には、別途、電子メールでもご案内連絡いたします。

1. 日時

2025年9月27日(土)14:00～16:00 ・14:00～15:00 総会 ・15:00～16:00 講演会

2. 場所

名工大構内 4号館1Fホール Zoomオンラインとの併用

3. 懇親会

16:30～18:00 鶴舞公園内のレストランを予定 会費:5,000円(学生は無料)

4. 総会

・計測会長挨拶 ・来賓御挨拶 ・活動報告 ・決算報告 ・役員紹介 ・会員スピーチ、意見交換

5. 講演会

演題:「創業者の選択 ～5,000億円企業を築いた経営哲学～」

講師:加賀電子株式会社 創業者 代表取締役会長執行役員 塚本 勲 氏

(講師プロフィール) <https://www.taxan.co.jp/jp/company/founder.html>

6. 参加申し込み

電子メールにて、下記事項を明記の上、お申し込みください。締め切り:9月17日(水)

宛先アドレス kei-soku@worldtech.co.jp

・ご氏名 ・卒業学科 ・卒年(学生は在籍学科、学年) ・電子メールアドレス ・現在の居住地(例: 愛知県刈谷市)

・出席方法:会場参加/Zoom参加 ・懇親会への出欠

7. ご参考

昨年度の総会・講演会等の様子は以下の計測会HPをご覧ください。

<http://www.keisokukai.org/information.html>

8. 補足説明

●計測会の会員は以下の学科の卒業生および関連研究室の大学院修了者です。

計測工学科、生産システム工学科 計測コース、機械工学科 計測系プログラム

物理工学科 応用物理分野

●計測会では会費、入会金はありますが、必要に応じて運営協力金をお願いしています。

●会員とは電子メールのみで連絡をとっており、郵便物はありません。メールマガジンが届いていない会員の方は、電子メールアドレスをご連絡ください。連絡先は、kei-soku@worldtech.co.jpです。

支部総会報告

2024年度 三河支部総会報告

三河支部

2025年3月1日(土)、豊田市の名鉄トヨタホテルにおいて、2024年度三河支部総会を開催しました。総会には来賓として、名古屋工業会本部から横山理事長、仁科常務理事に、大学からは小畑学長にご臨席を賜りました。横山理事長からは工業会の近況報告をしていただき、小畑学長には大学の近況についてお話ししていただきました。



小畑学長のあいさつ

その後、令和5・6年度活動報告、会計報告、令和7・8年活動計画案、収支予算案について審議を行い、いずれの議案も出席された会員の皆様にご承認をいただくことができました。

支部総会後の講演会では、名誉教授の岩田彰様に「ニューラルネットワークでノーベル賞」というテーマで講演をしていただきました。

2024年、ノーベル物理学賞・化学賞は「AI(人工知能)・ニューラルネットワーク研究」に関する受賞で、ニューラルネットワークからディープラーニング、そして生成AI、ChatGPTが生まれた流れを分かり易く説明していただきました。

現在話題になってAI分野に関して、非常に興味深いお話をお聞きすることができました。

講演会の後に懇親会を開催し、小畑学長、横山理事長、仁科常務理事と支部会員同士が交流する貴重な機会となりました。4年ぶりの総会でしたが、会員の皆様との連絡がうまくとれず、出席者が少なかったことが残念でした。

今後は、支部総会でご承認していただいた活動計画、収支予算に基づき、支部活動を行ってまいりますので、引続き会員の皆さまのご理解、ご協力のほど、よろしくお願いたします。

記：岩田 忠三 (M59)



横山理事長のあいさつ



講演会の様子



2024年度(令和5・6年度)三河支部総会参加者



懇親会の様子

2025年度 尾張支部総会報告

尾張支部

と き：2025年4月12日(土)

ところ：名古屋文理大学文化フォーラム(稲沢市民会館)小ホール

本年度の尾張支部総会は、少しでも参加者が増加することを念頭に置いて計画いたしました。また、諸物価の高騰もあり厳しい状況もあります。

いつものように役員が知人に参加を呼び掛けて多くの参加者が集まるようにしました。会員のみでは集まらないので非会員のかたにも参加をしてもらい最終的には約20名の参加になりました。

アトラクションとして名工大アカペラサークルのみなさんによる演奏が総会を盛り上げてくれました。名工大の皆さんは懇親会にも参加してくださいました。

《第1部：支部総会》

名工会尾張支部長小久江智之の挨拶のあと、ご来賓としてお招きした名古屋工業会理事で副学長の柿本健一様、名古屋工業会理事長の横山裕行様のご挨拶をいただきました。また、名古屋工業会常務理事の仁科健様にも出席いただきました。

その後、1号議案から3号議案まで審議を行い予算案も審議し承認されました。



支部総会の様子

《第2部：特別講演》

手指鍛えて認知機能改善 脳トレシステム開発と題して名古屋工業大学 電気・機械工学類：森田良文先生に特別講演をしていただきました。



特別講演の様子

大学の研究室の説明から始まり研究実績の紹介・実際の研究内容を説明していただきました。

工学と医療が具体的に結びついている研究でした。特に最近の関心を集めている認知症を改善する方法を開発し実際に医療現場で採用されています。手指デバイスと呼ばれるものを使用して手指を動かすトレーニングにより虚弱状態の改善になる。また、アイワッカ、つまり振動しているものをにぎると手の麻痺の改善になる。また、振動刺激は腰痛の改善になる。などのお話をいただきました。特に、脳の中では手指をつかさどる領域が、一番多くの部分を占めていることも教えていただきました。

《第3部：ミニコンサート》

ティータイム後に、名古屋工業大学アカペラサークルのグラッツェの皆さんによるミニコンサートがありました。アカペラとは、楽器を一切用いずに、リードボーカル、コーラス、ベース、ボイスパーカッションで1つの曲を演奏する表現方法です。5つのグループに分かれて、参加者に合わせた16曲を演奏してくださいました。アニメの挿入曲から参加者の青春時代の歌謡曲を聞き懐かしみながらも楽しいひと時でした。



ミニコンサートの様子

《第4部：写真撮影》

総勢 43 名全員が舞台前に集合し、記念写真を撮影しました。

《第5部：懇談会》

名古屋工業大学の皆さんも参加してくださり和やかな会になりました。年齢の差を感じさせないような盛り上がりでした。また、学歌を名工大の皆さんとともに歌うことができました。

予定通り午後6時に散会しました。



集合写真



懇談会の様子1



懇談会の様子2



懇談会の様子3

《今後の尾張支部関連行事の予告》

今年の尾張支部見学会は、本年 10 月下旬に開催する予定で、調整中です。

来年の尾張支部総会は、2026 年 4 月 11 日(土)13 時 30 分より名古屋文理大学文化フォーラム(稲沢市民会館)小ホール(本年と同じ)で開催します。

これらの尾張支部関連行事の内容については、今後の尾張支部役員会にて検討し、詳細が決まりましたら、名古屋工業会のホームページと、「ごきそ」に掲載しますので、ご確認ください。皆様の多数の参加を期待していますので、よろしくお願いいたします。

記：尾張副支部長 山口 初一 (E56)

名工大歴史館 今年も開催します

名古屋工業会では、2025 年 11 月 15 日(土)・16 日(日)の工大祭期間中に 4 回目となる「名工大歴史館」を開催します。会場は、校友会館 2 階です(御器所キャンパスの正門に入ってすぐの右奥の建物)。名工大の 120 年に及ぶ歴史を感じていただけます。ぜひ、お立ち寄りください。

詳しくは、名古屋工業会の
ホームページで御確認ください。
<https://www.nagoya-kogyokai.jp/>



2025年 大阪支部「春季歴史探訪の会」開催報告

大阪支部

「聖徳太子の眠る里」大阪太子町巡り 担当：歴史探訪の会 横山誠・奈良部会 西川嘉一

日時：2025年4月19日(土)10:00～17:00

参加者数：25名

内容：叡福寺見学…太子廟を守る寺として聖武天皇の勅願により造営。住職による解説。

聖徳太子廟…太子の母、穴穂部間人皇后と后、膳郎女と埋葬される。(三骨一廟)

用明天皇陵・推古天皇陵…6世紀末～7世紀の天皇陵が蘇我氏の地盤太子町に集中。

竹内街道歴史資料館…竹内街道に関する情報が展示。

近つ飛鳥博物館…大阪の河内に集中する古墳資料の展示、三骨一廟、石を引く修羅など。

葛城市相撲館「けはや座」…相撲の開祖・當麻蹶速を称え、相撲の歴史を伝える。

今回の歴史探訪は、聖徳太子のお墓(廟)のある、大阪太子町の叡福寺、太子の侍女三尼公の廟所・西方院を中心に太子の関係する天皇陵、近つ飛鳥博物館、および太子町を通る最古の官道とされる竹内街道歴史博物館を訪問しました。マイクロバスでこれらの寺、博物館を移動し、太子町から奈良香芝市へ竹内街道沿いにも移動して、古代の街道の雰囲気も味わいました。道沿いは古民家が昔の面影を色濃く残している地域で、参加者はタイムスリップした感覚を味わえました。

叡福寺は聖徳太子が救世観音の生まれ変わりとする太子信仰の象徴として、太子を敬う空海や親鸞、叡尊、一遍、日蓮など名僧が参籠し、日本の大乘仏教の聖地として、法隆寺、四天王寺とともに栄えてきた歴史があります。織田信長によって寺は焼かれますが、豊臣秀頼や徳川氏の支援により寺勢を維持してきました。参加者は秀頼の銘が刻まれている寺の擬宝珠を確認できました。



叡福寺にて(後が太子廟)



近つ飛鳥博物館にて

竹内街道は堺から羽曳野市、太子町を經由して二上山の竹内峠を越えて葛城市に至る約30kmの街道で、古くは飛鳥時代に中国や朝鮮半島の大陸文化はこの街道を通して飛鳥にもたらされました。竹内街道歴史資料館ではこれらの紡がれた文化の紹介と、街道の道標の展示が行われていました。特に西国巡礼で僧が使った「オセタ」と呼ばれる背負い観音は圧巻で、開くと仏壇となり閉じると背負える状態のコンパクトサイズになり、よく造られていると感心したものです。

近つ飛鳥博物館は実サイズの三骨一廟の模型が展示されており、また石を運ぶ修羅という大木の道具の大きさに驚きました。

相撲館「けはや座」では相撲の歴史が理解できる展示があり、実際の土俵に乗ることもできて、参加者は土俵の実際の感覚を把握することができました。

奈良・大阪間にある二上山を見ながらその地域の歴史を学び、古代の雰囲気を味わえた一日でした。次回の秋季歴史探訪は本年11月に聖徳太子関連で法隆寺と斑鳩の里を巡る予定です。

記：横山 誠 (K47)、西川 嘉一 (G50)



けはや座にて

交流サロン報告

第19回 大阪支部交流サロンの開催報告(Web講演)

大阪支部

2025年4月12日(土)、会員相互の親睦と交流を目的に、若手・女性部会主催の「第19回名古屋工業会大阪支部交流サロン(Web講演)」を開催いたしました。若手現役やシニアも含めた楽しい交流会となりました。

東京ごきそサロンへの案内も行き、初参加の7名を含め、35名の参加となりました。懇親会はございませんでしたが、講演と質疑、懇談で約2時間半の賑やかな交流会となりました。

講演タイトルは、元阪神高速道路(株)の渡辺尚夫(C61)様に、『阪神高速喜連瓜破橋リニューアルと淀川左岸線2期建設の概要』と題して、約2年半の通行止め工事を終え、昨年12月に通行再開した喜連瓜破橋の架け替え事業について、工法選定経緯等を含めてご説明いただきました。また、4月から開催される大阪・関西万博のシャトルバスルートとなる淀川左岸線2期建設の概要についても、たくさんの動画を用いて解説していただきました。

渡辺様は、交流サロンでは第2回開催の『高速道路リニューアルプロジェクトの概要』に次ぐ再度のご登壇となりました。従来と全く異なる新工法についての苦心談などについて、語っていただきました。

監修：渡辺 尚夫(C61)、記：坪田 博隆(M51)

1. 阪神高速リニューアルプロジェクト

阪神高速リニューアルプロジェクトの概要

- 大規模更新工事(本体構造物の全体的な取り替え) 3箇所 で工事中
- 大規模修繕工事(主要構造物の全体的な補修・補強) 各所で実施中

阪神高速の大規模更新工事 (全6箇所)

11号東田原 大倉橋付近
13号大田原 成行付近
14号大田原 成行付近
15号大田原 成行付近
16号大田原 成行付近
17号大田原 成行付近

橋脚追加、上部工取替
鋼製フーチング改良 支承受替
橋梁架替

出典：阪神高速道路(株) 提供

2. 喜連瓜破橋リニューアル概要図(架け替え範囲)

喜連瓜破橋 架け替え範囲

約15.4m
1.4号松原線

撤去範囲

橋梁の上部工(桁・床版)と中間橋脚の梁部分を更新

出典：阪神高速道路(株) 提供

3. 喜連瓜破橋の劣化・変状

喜連瓜破橋 劣化・変状の状況

橋桁の中央付近にあるヒンジ形式の継ぎ目が、建設時の想定を超えて垂れ下がり、路面が大きく沈下。

- 供用から約40年が経過した橋で中央部に「つなぎ目」がある
- 建設当時は合理的とされていた

経年とともに想定を上回る「垂れ下がり」が進行

出典：阪神高速道路(株) 提供(一部編集)

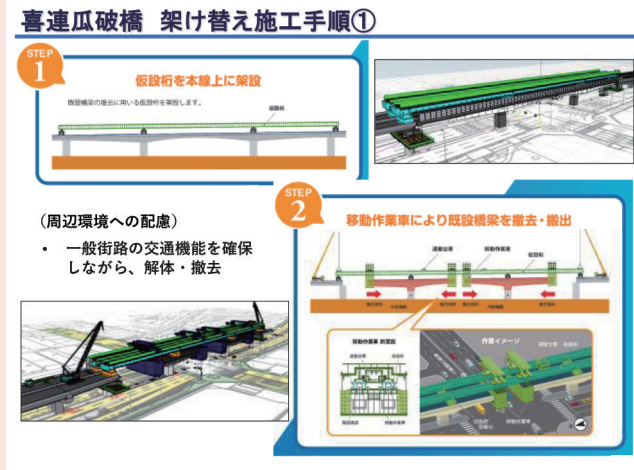
4. 喜連瓜破橋架け替え施工方法検討

喜連瓜破橋架け替え 施工方法の検討

	①迂回路案	②半断面施工案	③通行止め案
平面図			
施工条件	片側1車線の仮設迂回路を上下線に設置し、既設橋を撤去・更新	既設橋を上下線別で半断面用しながら、半断面ずつ撤去・更新	喜連瓜破橋～三宅間の本線通行止めを行い、上下線一括で撤去・更新
高速本線供用	2車線(片側1車線)	可能	通行止め
喜連瓜破ランプの供用可能	不可	可能	可能
地域影響	<ul style="list-style-type: none"> 迂回路構築中は東側の住居や店舗から車道へのアクセスが妨げられる。 迂回路の多数の柱により車道へのアクセスが妨げられる。 迂回路の柱が住居や店舗に直面するため影響が大きい。 迂回路が都市空間形成へ影響する。 	<ul style="list-style-type: none"> 仮橋脚構築中は東側の住居や店舗から車道へのアクセスが妨げられる。 仮橋脚が直線に直面するため影響が大きい。 仮橋脚が都市空間形成へ影響する。 	影響なし
歩行者・自転車	迂回路構築中は歩道の十分な幅員確保が困難。 <td>仮橋脚構築中は歩道の十分な幅員確保が困難。 <td>影響なし</td> </td>	仮橋脚構築中は歩道の十分な幅員確保が困難。 <td>影響なし</td>	影響なし
工期	約12年	約10年	約4年(本線通行止め期間:2.8年)
交通影響	<ul style="list-style-type: none"> 近隣自動車道の渋滞が延伸 松原線の車線規制による車線減少等で渋滞が発生 	工事規制期間で渋滞が発生	<ul style="list-style-type: none"> 近畿道や中国自動車道の渋滞が延伸 松原線の喜連瓜破橋を先頭に渋滞が発生 東大田原の渋滞が延伸
一般道路	工事規制期間所や、通行する南北道路等で渋滞が発生	工事規制期間所で渋滞が発生	工事規制(南北道路)や、その周辺の道路(南北道路、東西道路)で、渋滞が発生

出典：阪神高速道路(株) 提供

5. 喜連瓜破橋(既設橋)の撤去工法概要



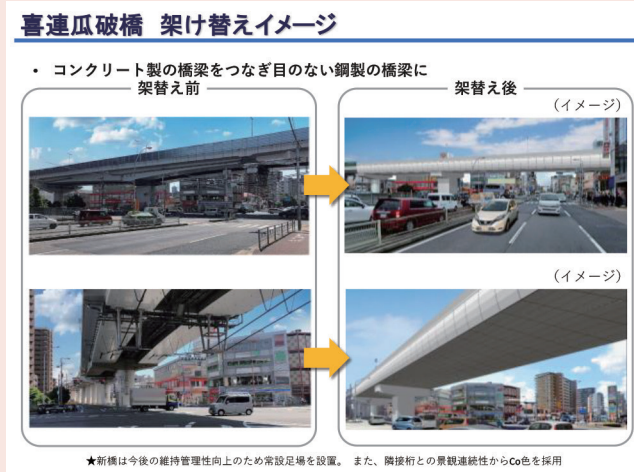
出典: 阪神高速道路(株) 提供

6. 喜連瓜破橋(既設橋)撤去状況



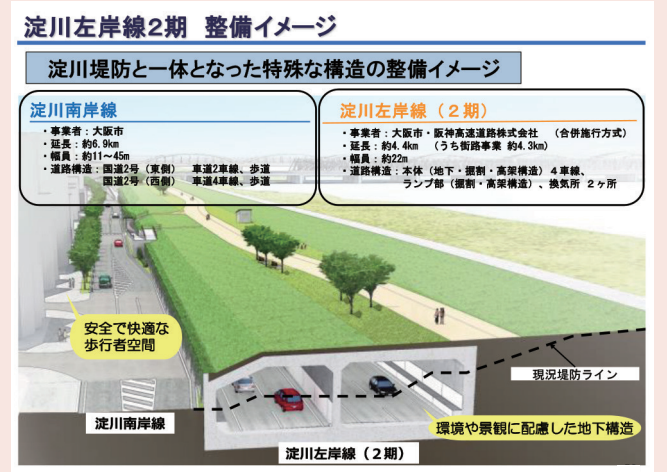
出典: 阪神高速道路(株) 提供

7. 喜連瓜破橋リニューアル概要(新旧橋梁)



出典: 阪神高速道路(株) 提供

8. 淀川左岸線2期整備イメージ



出典: 阪神高速道路(株) 提供

9. 淀川左岸線2期ルート(万博アクセスルート)



出典: 阪神高速道路(株) 提供

10. 淀川左岸線2期建設状況(海老江JCT)



出典: 阪神高速道路(株) 提供

ゴルフ大会報告

第141回 名工大ごきそ会報告

名工大ごきそ会

第141回名工大ごきそ会は、2025年3月25日(火)名古屋市守山区に位置する緑ヶ丘カンツリークラブで13名の参加者を得て開催されました。当日は朝から快晴にめぐまれ、シデコブシ、椿、開花を始めた桜を愛でながらのゴルフ日和になりました。

今回の優勝者は小磯智恒さんで、グロス100、ネット74の成績でした。準優勝者は加藤倫朗さんで、グロス101、ネット79の成績でした。第3位は当クラブメンバーの市橋洋志さんで、グロス112、ネット80の成績でした。今回は年度末のコンペということもあり、HCの比較的高い人たちが上位入賞することになりました。BB賞は篠田陽史さんが獲得されました。特別賞として、ベストグロス賞は唯一100を切った平岡雄偉さんがグロス90の立派な成績で獲得されました。ニアピン賞は神谷卓郎さん、平岡さん、小磯さん、加藤さんがそれぞれ獲得しました。バーディー賞は、今回獲得者はありませんでした。おしどり賞と汗闘賞は山田、大波賞は梶原さんが獲得しました。



集合写真

今回は開始時間も比較的早かったので、懇親会もゆっくりとすすめることができました。優勝された小磯さんからは先頭グループで楽しくプレーできたことが勝因に繋がった、とのお話しでした。次回は、代表幹事の篠田様のご紹介で5月27日(火)みよし市に位置する三好CCでの開催を予定しております。

名工大ごきそ会では、一緒にゴルフを楽しむ方を募集しております。愛知県内のゴルフクラブで年4回開催します。気楽にプレーできますので、興味のある方は山田までご連絡ください。(E-mail:kazuoy50@gmail.com)

記：山田 和男 (E47)

第262回 名工会東京支部ゴルフ大会報告

東京支部

名工会東京支部ゴルフ第262回大会は、2025年4月15日(火)に歴史のある林間コース小田急藤沢ゴルフクラブにて開催されました。

当日は天気晴朗なれど、春の嵐のような強風の中でのプレーとなり、皆様スコアメイクに大変ご苦労されたと思います。その中結果は、優勝 中村理恵 (G62) さん (NET76、HC37)、準優勝 馬嶋建 (A40) さん (NET85、HC10)、3位 津田卓美 (M39) さん (NET88、HC20) でした。

プレー終了後、クラブハウス内のレストランにて、各賞の表彰式と懇親会を和やかに行いました。

次回は6月5日(木)、中山カントリーを予約しております。奮ってご参加願います。尚入会ご希望の方は中村理恵 (G62) さん (rienakamura0529@gmail.com) までご連絡ください。

記：実行委員 河野 正武 (M42)、林 利信 (B45)



後列左より 三好 (A40)、西口 (Mb49)、馬嶋 (A40)、岩崎 (E49)、加藤 (D36)
前列左より 津田 (M39)、林 (B45)、中村 (G62)、河野 (M42)

計測会2024年度の取り組み

計測会会長 寺倉 修 (F50)

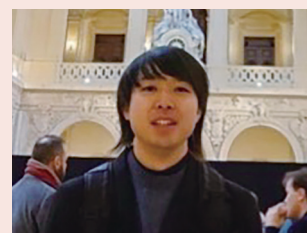
1. 「海外研究発表者への支援金」を給付

23年度から新たな学生支援の取り組みとして、「海外研究発表者への支援金給付」をスタートし、今年で2年目になります。研究交流を通し海外の人との触れ合いが増えればと、国際会議で研究発表をする学生へ支援金を給付します。応募資格は、理工学系プログラム応用物理分野の研究室で、博士前期課程または博士後期課程に在籍する方。受給者の定員は年度ごと2名、支援金は一人当たり5万円。用途は、海外渡航の準備、渡航先での懇親会などの研究交流です。

24年度は、博士後期課程の麦田大悟さんと博士前期課程の中村泰晴さんに支援金を給付しました。

尚、受給者から海外研究発表の経験などを計測会へ寄稿いただき、会のホームページに掲載する。以下に、お二方からの寄稿文の一部をご紹介します。

・麦田 大悟さん『この度は、計測会より、海外研究発表者への支援金給付を賜り、誠にありがとうございました。本支援金は、2024年12月にフランス・リヨンで開催された国際会議「Traffic and Granular Flow 2024(TGF24)」へ…私はこの会議において、「非弾性剛体円板系における最終凝縮状態の系統的な解析」に関する研究成果を発表いたしました。…リヨンでの5日間の滞在は、研究発表や国際的な議論にとどまらず、現地の文化や人々と触れ合うことで、自身の視野を広げるかけがえのない経験ともなりました。』



麦田大悟さん
休憩・昼食のバンケット会場にて

・中村 泰晴さん『フランス・リヨンにて開催された TGF 2024 に参加させていただきました。本国際会議は、交通流(人や自動車などの流れ)や粉体気体、群集行動に関連する物理学を網羅的に議論するものであり、私は「異なる近接判定がもたらす Vicsek(ヴィチェック)モデルの群集運動の違い」について口頭発表いたしました。…豊かな水と2000年の長い歴史を感じることができるこの素敵なりヨンという街で、さまざまな研究者と実りある“相互作用”ができた経験は私にとって強いモチベーションとなり、忘れられない経験となりました。』



中村泰晴さん
TGF24会場での研究発表

2. 「計測会賞」を授与

2024年度の計測会賞を授与しました。受賞者は理工学系応用物理分野を卒業された小池脩斗さん。

卒業式の日にとり行われた学位記授与式のお借りしました。2025年3月26日(水)12時45分、2号館0232教室。小池さんへ計測会賞の表彰状と記念品を贈りました。小池さんの心の糧になればと願っています。



計測会賞授与：受賞者は小池脩斗さん

計測会賞は、応用物理分野の卒業生から成績優秀な学生1名を表彰します。

続いて、「皆さんは今日から計測会の会員です」「お手元の“計測会のしおり”にあるQRを開き連絡できるメールアドレスの入力を」とお願いしました。さらに、卒業のはなむけに、2つのことばを贈りました。

まず一つは、「答えは自ら見出す」。これから遭遇される多くは答えが決まっていません。皆さん自身が答えを見出さねばならないのです。「できない理由ではなく、どうしたらできるか」を「常識にとらわれすぎず」、且つ「原理・原則に則って」考え、行動してください。おのずと答がみえてくるでしょう。

もう一つは、「目標は高く掲げる」。自分の目線より、1ランク、2ランク高い目標を掲げるという思いを大切にしてください。そして、同じ汗をかくなら、日本、いや世界No.1を目指して欲しいと思います。「世界No.1を目指そう」と思うことが大切です。思えば、それがスタートラインを切ることです。もちろん、達成できるとは限りません。しかし、そのチャレンジは、皆さん自身を成長させ、次の取り組みを成功させる原動力になります。

「目標を高く掲げ」、「答えは自ら見出す」新たな計測会員の皆さん、大切にしてください。



左から、計測会会長寺倉・計測会受賞の小池脩斗さん・副会長野村
小池さんの手にあるリボン付きの箱が計測会賞商品

ごきそ技術士会2024年度 活動報告

名古屋工業大学ごきそ技術士会
 広報 下萩 憲次 技術士(電気・電子部門)
 峯村 剛弘 技術士(機械部門)



1. ごきそ技術士会の活動について

名工大卒業生の有志で設立した当会では、講演会や見学会を企画し、会員以外の方々にも参加を募り開催しています。本稿では2024年度の活動報告を行います。

2. 見学会 5/10 知の拠点あいち(豊田市)

付加価値の高いモノづくり技術開発の拠点である『知の拠点あいち』の視察のため、本技術士会並びに公益社団法人日本技術士会中部本部から12名の技術士が参加しました。

この地における名古屋工業大学の研究成果、重点研究プロジェクト、高度計測分析機器、あいちシンクロトロン光センターを見学しました。最新技術の設備などでは活発な質疑応答が交わされ、充実した見学会になりました。当設備で生育しているCO₂活用で栽培したトマトの味は格別で物づくりの科学の成果を味わうことができたことも特筆すべきことでした。



知の拠点概要説明:加藤専務理事



参加者集合写真

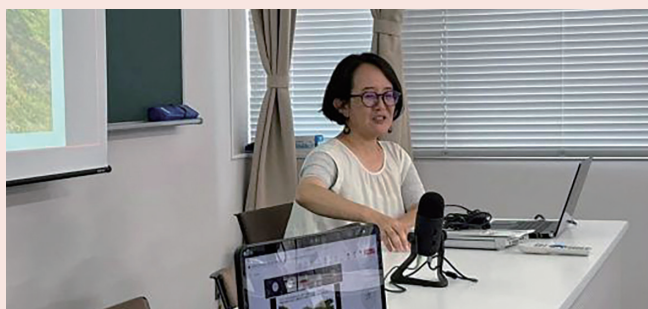


CO₂活用トマト栽培

3. 総会 7/6 名工大(Web 併催)

毎年7月にごきそ技術士会総会を開催しており、年間事業計画や予算等を策定します。

また総会記念講演として、社会工学科准教授 吉田奈央子先生より、微生物を用いた地下水土壌浄化研究および、微生物活動から排出されるエネルギーを燃料電池として使用することによる、下水道のネットゼロエネルギー化について講演が行われました。



総会での講演の様子



参加者集合写真

4. ごきそテクノカフェ(全3回)

例会として会員技術士のほか、名工大の先生へ講師を依頼し、各専門について講演会を開催している。また今年度からはリアル&Web併催となりました。

・第1回 9/28 名工大(Web 併催)

技術士(機械) 矢澤宏明さんより、勤務先のブラザー工業での3Dプリンター導入から増設、更には3D造形室の運用まで発展させ、3Dプリンターの活用による設計、開発の効率化までの実体験について講演をいただきました。

(紹介された参考動画について下記参照)

デザインファクトリー導入事例

<https://www.youtube.com/watch?v=omcYn3xJkbQ>



また電気・機械工学科准教授 岸直希先生より、温度差を利用した発電技術である熱電変換の材料研究について講演されました。従来の無機物系熱電材料は脆性で製造に制約がありますが、有機物系熱電材料を印刷技術で製造することで、薄膜化・軽量化・柔軟性が可能になります。この特性を活かし、電池を使用しないウェアラブルヘルスデバイスやIoT センサネットワークへの応用が期待されています。

・第2回 12/7 名工大(Web 併催)

中小企業診断士 吉田信人さんより、DX による企業の付加価値生産性向上について講演されました。

また生命・応用化学科 ソフトマテリアル分野教授 猪股克弘先生より、高分子材料に求められるカーボンニュートラルに向けた取り組みについて講演されました。併せて、名工大構内に設置しているインスタントハウスのミニ見学会が行われました。

インスタントハウスは、社会工学科教授 北川啓介先生が考案され、能登半島地震など被災地や紛争地域への提供、および製造方法の教示をしています。

見学会では現地で見に来られた能登被災地の状況や、支援の取り組みについての説明も伺いました。



ごきそテクノカフェの様子



インスタントハウス ミニ見学会の様子

北川啓介研究室

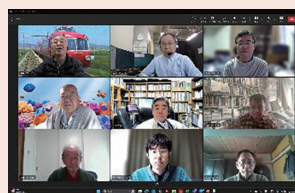
<http://instanthouse.planet.bindcloud.jp/>



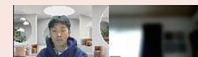
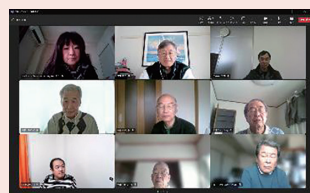
・第3回 2/15 Web 開催

技術士(金属・総監) 橋本英樹さんより、名工大電気・機械工学科で講義されている、技術者倫理教育内容として、技術者倫理の重要性と、技術や経験を培う為に技術史を学ぶ大切さについて講演されました。

ごきそ技術士会では名工大への講師派遣を行っており、その中で橋本さんは技術者倫理の講義を担当されています。



WEB参加者



終わりに、本年度から例会も含めリアル開催となり、膝をつき合わせられる距離での聴講、議論が再開され、研鑽と懇親をより深く行えるようになりました。またリモート併催により、参加方法が適宜選択できることで移動距離や時間の制約によるハードルが下がり、遠方からも連続して参加しやすい環境となっています。

今後、より活発な技術士のコミュニティとして盛り上げていきたいと思っております。



懇親会の様子

ごきそ技術士会

<https://gokiso-pe.jp/>



表彰者紹介

2024年度 叙位叙勲受章者は以下のとおりです。

「瑞宝中綬章」
(教育研究功労)

かずみ
甲村 和三



【職歴】

1972年 6月 名古屋大学 文学部 助手
1976年 7月 名古屋工業大学 講師
1979年 8月 名古屋工業大学 助教授
1989年 11月 名古屋工業大学 教授(2007年 定年退職)
2007年 4月 愛知工業大学 教授(2014年 定年退職)

【コメント】

恵まれた研究環境を生き切れたか斬鬼に堪えませんが、叙勲の栄に浴したことは、ただただ皆様に感謝です。工学部では、研究(心理学)の有用性、実利性の面で肩身の狭い思いをしたものですが、不採算部門(?)にも光を当てていただいた気がします。

交流コーナー

好奇心赴くままに、皆さまから
寄せられた随筆など御紹介します。

随筆

ウィーンの不思議

久田 廣 (D47)

ウィーンと聞けば「音楽の都」、「芸術の都」など、魅力的な街が頭に浮かびます。そんな街に駐在する辞令を受け、1994年に単身赴任しました。そこで生活する事で見えてくるウィーンをご紹介します。着任前の準備としてドイツ語を、と思っても身が入らず中止。オーソン・ウェルズの映画「第三の男」を二度見て、ウィーンが1945年から10年間、連合国に4分割統治された暗い雰囲気のある街であったことを知りました。

あれから50年、「ソ連崩壊」と時代も進んでウィーンは名古屋市の栄か名古屋城のように観光都市化していると想像しましたが、そこは薄暗くメランコリックな街でした。「まさか、数年前に東欧3カ国めぐりで訪問したウィーンの街は美しく、華麗であった」、とのお叱りの声が聞こえてきてしまいます。



ウィーン駐在、工場での写真 左から2人が執筆者

1. 観光都市宣言

1991年のソ連崩壊までオーストリアは旧東欧圏へのビジネスの窓口として栄えましたが、「ベルリンの壁」の崩壊とともにその経済的地位は低下しました。ドイツ・オベル社の撤退、日本の生協に近いコンツム (Konsum) の倒産、当時日本でも人気であったスキー板、靴メーカーの閉鎖など、よいニュースは殆どありませんでした。そこで政府は①観光、②地場産業の育成に力を入れることを宣言しました。1994年当時、建物の壁は、かつての石炭暖房の煤煙が付着して

ドス黒く、特に日の短い冬の薄暗くなった市内は、「第三の男」でオーソン・ウェルズを追跡するシーンを思い出させるほどでした。まず、煤煙の削り取り、壁面の清掃に取りかかったのは観光の超目玉「シェーンブルン宮殿」だったと思います。なお、1995年ごろまでは、どこの観光地も入場料を払えば一人で自由に内部を散策できましたが、①オートフラッシュカメラの出現、②ハンディーカム流行で人の滞留が発生、そして③マナーに不安な国の大人数の観光客、で価値あるものは「アクリル板」でガードされてしまいました。ベルヴェデーレ宮殿にあるグスタフ・クリムトの名画「抱擁」も今は全面アクリル板でガードされています。イタリア・フィレンツェで人気のウフィッツィ美術館を1995年に見学しましたが館内に人はまばら、ボッティチェリの名画「プリマペーラ」を一人静かに鑑賞できましたが、現在は大混雑、アクリル板で保護しているらしいです。

話がそれましたが、王宮(Hofburg)、オペラ座(Staatsoper)すこし遅れて楽友協会(Musikverein)の外壁を順次化粧直しし、市民公園にあるヨハン・シュトラウス像を黒から金色に塗り替えて観光客を喜ばせています。地場産業で記憶に残るのは、クリスタルガラスの「スワロフスキー」です。チロル州、Wattenにスワロフスキー・クリスタルワールドと言うドーム型のアトラクションを建設しました。オーストリア西部のチロル州は山岳地帯で平地は少なく、夏は牧畜、冬はスキーリゾート地として有名ですが、アルプスを越えたイタリア北部も(ムッソリーニに盗られる前は{現地の人}の言い方)チロル人のチロル州でした。この地政学的環境よりチロル人の勤勉さが生まれ「スワロフスキー」は発展したと思います。なお、まず日本に積極展開する(とTVニュースを聞き取れましたが)と言っていました。確かに、日本に店舗は多いです。

2. 町並みの秘密

オーストリアはどこへ出掛けても町並みはきれいです。ある日、「明日、地元説明会をやりますので休暇をもらいます」と50代の社員が私に連絡してくれました。「地元説明会?」。「毎週末のDIY作業、2年計画で自分の家を建てることにしました。地域住民17人にこの家の計画を説明して建設の了解をもらわなければなりません。」役所の認可よりも周辺の建物との調和が重要ということです。だから、突拍子もない構築物は建ちません。更に、ウィーン市内では自宅の庭の樹木を切り倒すと役所がその年輪を数え、一定の金額を徴収すると聞きました。これでウィーンの森は守られています。

会社の人に聞くと「自分の家くらい自分で建てられる」ようです。建築の手順は概ね次の通りです。①基礎のコンクリートを打つ、②外壁部に厚さ30cm程、内部空洞で軽量化した赤レンガをブロック塀の要領で積み上げる、③出入口、窓部分スペースはレンガを積まない、④扉、窓はホームセンターにユニットとして販売、それをはめ込み、周囲を発泡ウレタンスプレーで密封、⑤三角形に積み上げた左右の外壁に3×6の板が並ぶように横棒を何本か渡す、⑥板を張り、瓦を並べて完成。天井裏などの断熱工事、内装作業に取りかかります。建築資材はほぼ規格化され、地震や台風がないため町並みに統一感が自然と生まれます。なお、不謹慎を承知で申し上げますが、被弾で壊れた農家をウクライナ住人が再建しているニュース映像はこの手順とほぼ同じです。

3. 外国語能力

中学校から英語を学び、大学でドイツ語の単位を取っても我々の外国語会話能力は確かに褒められたものではありません。会社の人には独語、英語は話せます。オランダ語は3割は英語、3割はドイツ語と同じだ、とオランダ出身の工場長は教えてくれました。文字がアルファベットだからこの世界に住めば必要性から語学力が身につくのだろうと思います。もし、あなたが会話力の話者になったら、次のように問い返せばよいでしょう。「あなたはハンガリー語(マジャール語)とかフィンランド語は話せますか」と。アルファベット圏の国ですが文法が全く異なるので大変難しいと聞きました。ハンガリーの音楽家、フランツ・リストは元々リスト・フレンツェと言い日本語のように名字が先です。パリのサロンにデビューするには

具合が悪いと、語順と名前を代えたそうです。「ハンガリー語のような文法で、また漢字を3,000字ほど覚えねばならないので日本語は大変です。」と言うと皆、納得してくれます。とどめは、A4の紙に「龍」と大きく書く。「ドラゴンだ」と言うとき、目を白黒させ、「どの様にその字を記憶するのか」、「どこから書き始めるのか」とマジックを見ているような質問を受けました。日本人は「LとRが苦手」な事を誰が教えたのか、何故か皆知っていました。結局、私もLとRを聞き分けることはできませんでした。「日本語に子音発音がないので日本人は無理です」と言うとき、「Warszawa等子音3連続が多いポーランド語は絶対無理ですね」と言ってきました。



アウトバーン除草作業

4. 労働生産性

OECDの資料によると、オーストリアは日本より生産性は上位です。労働の中身に順位は影響するので気にすることはありませんが、ウィーン従業員の働きぶりを参考までに紹介します。

着任初日の挨拶時に必ず耳にする言葉があります。“Who do you report to?” あなたは誰にレポートするのですか。すなわち、「あなたの上司は誰ですか」と。何度この英文を耳にしたことか、これは私のJob Function（職務内容）を聞いており仕事で接点があるか確認していたのでしょ。勤務時間は8時から17時です、7時半ごろには出社して仕事をし、17時ピッタリに皆退社します。昼食は机でサンドイッチとコーヒーかコーラ、昼休みに昼寝をしたり、喫茶店へ行くことはありません。多くの仕事実績と経験を積んで、「転職」することが当たり前の世界ゆえ、勤務時間を無駄に出来ないでしょう。従業員が「コロコロ」変わっても業務に影響は出ない、その原点は法律で定められた「年5週間有給完全取得」にあるように思います（ただし、祝日は少ない）。縦軸に氏名、横軸に1から52の数字を記した表に、全従業員が有給希望の週に線を引きます。夏休みの7月、8月は家族持ちに譲り、クリスマス時期は部署の人員が「0」にならないように調整する等、11月頃に次年度の有給割り付けを決定します。だいたい、5週を4と1に分けて取る人が殆どです。ある部署の人が夏期4週間休暇を取るとき、「私（A）の職務をB氏に委譲します」と二人がサインし、社長の承認を得ます。これから4週間、A氏のファイルを見て、B氏が業務対応をしていくことになります。ここでポイントとなるのが「ファイリング」です。7月頃になると高校生が書類の整理整頓実習に来ます。社員が実務に沿って指導していました。その結果、会社、部署に関係なく同一ルールで整理されているのでしょ。文房具店に多種のバインダーが有る日本ですが、欧州では「一種類」のみと言えるのでしょ。EU議会でもドイツ議会でも同じタイプです。テーマは異なってもファイリングの基本は同じとすることです。この統一性が生産性や人材流動性に関係していると思います。光熱費の集金方法が面白かったのでご説明します。アパートの電気とガスの契約をする際、「契約のタイプはどれにしますか」と聞かれました。日本的発想で「契約アンペア数」の事か、と思ったがどうもそうではありません。契約書のグラフ①直線型、②冬多く、夏少ない、③その逆、のいずれかを選択します。要は、検針は3～4か月毎、支払いは毎月だから毎月推定使用量を算出する「演算式の選択」でした。ガスの方も同様に検針担当者を削減できます。

少々ぼやきになって申し訳ありませんが、高速道路の除草作業は名神高速道路が開通して以来、進歩したでしょか。道路を半分閉鎖し多くの人数を掛けて炎天下、作業をしています。通行人は渋滞にイライラ、作業者は暑さにヘトヘトです。何故、この問題を解決しようとしないのでしょか。答えはアウトバーンにあります。添付の写真をみてください。トラック前部に電動草刈り機、後部に刈った草を吸い取る装置、それに追隨する大型トラックは巨大な黄色灯を点滅させます。たった2名でかつ、快適な車内作業。お米収穫機の「コンバイン」を設計できる日本なら似たようなものはできると思います。

5. Die Natur

現地のマスコミで何度もこの単語を耳にしました。意味は「自然」、「天然」です。自然保護あるいは自然を大切に、よりも厳しい姿勢がオーストリアでは感じられました。ウィーンの森の道やワンダーフォーゲルのコースから外れて歩くことは禁じられています。そこはNaturの領域だから、故に美しい自然状態が保たれています。「人跡未踏の森にこの度TVカメラが初めて入りました」と苦勞を暗示させるコメントで放映される自然報道番組をNHKで見ることがあります。しかし、森に靴の跡がつけば、Naturは失われたとウィーン人は考えます。女帝マリアテレジアが造った歴史ある「ショーンブルン動物園」には「淋しい」ジャイアントパンダがいます。会社でパンダを話題にしても誰一人関心を示しませんでした。檻で飼育されている、それはNaturではありません、だから興味もありません。上野のパンダは幸せですか、水族館のイルカは幸せですか、日本にNaturは根付くでしょか。

6. Gemeinde

ウィーン市内には、“Stadt Wien”（ウィーン市）と、“Gemeinde Wien”の標識があります。Stadt Wienは地図上の表記と思いますが、後者の表記説明はガイドブックになく意味は今も不明です。直訳すれば「ウィーン住民共同体」でしょか。ローマ市内でも足下を見ると、“Comune di Roma”の同表記があったと記憶があります。市役所行政と住民による地域自治なるものが有るのではないか、その住民自治が自分の住む町の価値向上に役立っていると推測しています。

製造業のDX推進の切り札として取引伝票等全てに

「QRコード印字」を提案(同時に、データドリブン型ボトムアップシステム開発とトヨタ生産方式の組み込み)

野村 政弘 (B40) (元 株式会社デンソー)

一般社団法人 SCCC・リアルタイム経営推進協議会

一般社団法人 持続可能なモノづくり・人づくり支援協会

1. はじめに

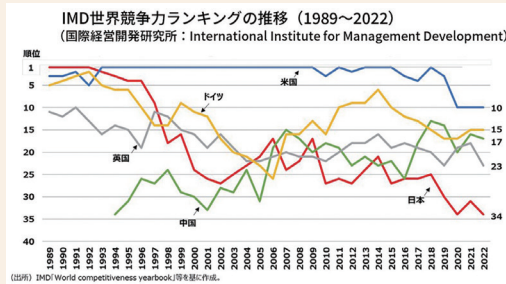
スイスの国際経営開発研究所 (IMD) による日本の世界競争力ランキングは、1992 年迄はトップの座にありましたが、2022 年には 34 位にまで落ちてしまっています (図 1-1)[2]。この要因として、同じ IMD が発表しました世界デジタル競争力ランキングでは、30 年前にトップであった日本が、今では世界の 32 位にまで落ち込んでいるとの発表があります (図 1-2)。デジタル化の遅れがそのまま競争力の低下を招いてしまっているといっても過言ではありません。

更にその上に、経済産業省が 2018 年に発表しました DX レポート (図 1-3) [1] では、「2025 年の崖」と題して、このまま今、日本が抱えている課題が解決されないと、DX が実現できないだけでなく、2025 年以降、毎年最大 12 兆円の経済損失を生じる可能性があるとの発表がなされています。

本論叢では、この事態を打開すべく、以下の視点から論点を進めております。

それは、

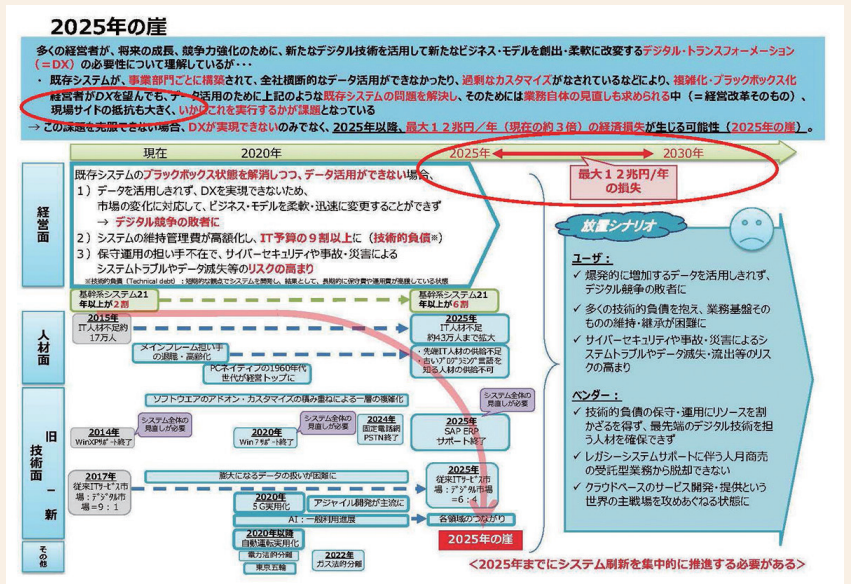
- ①現場の作業員が真っ先に喜ぶ DX の実現 (QR コード活用による情報化の実現)
- ②ボトムアップ型 (現場参画型) システム開発の実現 (トップダウン型からの改革)
- ③流れ生産による資金回収速度の劇的改善による経済効果の創出 (トヨタ生産方式の実現)



(図1-1) IMD世界競争力ランキングの推移



(図1-2) IMD世界デジタル競争力ランキング



(図1-3) 2025年の崖 (経済産業省 DXレポート) (2018.9)

2. 序章(日本のDXの遅れの考察)

この日本のDXの遅れを考察してみますと、やはり日本人は漢字圏の中でキーボード文化に馴染みが薄く、コンピュータにデータを入力するのは、限られた事務担当か外注に任せてきたきらいがあります。コンピュータは、データが無いと何もできませんが、逆にデータさえあれば何でもやってくれるのがコンピュータといえます。



(図2) バーコード化とレジでの読み取り

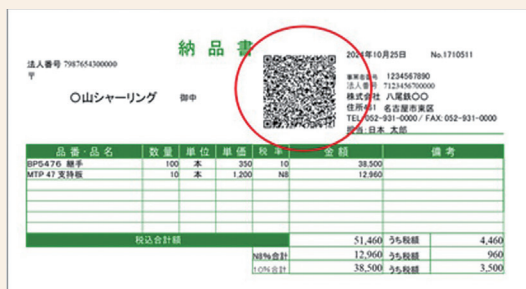
このことは、実は日本の中でもDXが最も進んでいるスーパー、コンビニ業界が実証しています。スーパー・コンビニでは、レジの作業が腱鞘炎の予防のため、15分毎に休憩を入れられないといけない程大変な作業なので何とかしようと、製品の全部にバーコードを付けることで、この問題を先ず解決しています (図2)。そして、そのデータを使って、POS (Point of Sales) システムとして仕入れ管理から需要予測まで活用してシステム化し、今では全世界で売上高を大きく伸ばしてきています。この実現には、日本政府も外郭団体を設立して支援しています。

3. これからの日本の製造業を支える論点の展開

①現場の作業員が真っ先に喜ぶ DX の実現 (QR コード活用による情報化の実現)

(1) 全ての取引伝票に QR コードを印字する

このコンビニの事実を、製造業に当てはめてみますと、そこには全ての取引には必ず納品書が存在しています。しかもそれは、生産を開始するには欠かせない情報であり、売上においても絶対不可欠の情報でもあります。即ち、製造業における一番の基本的情報がこの納品書に存在するのです。これをワンタッチ入力



(図3) 納品書とQRコード



(図4) 入荷チェックの作業

で情報化できれば、POP (Point of Production) システム [4] として一気に DX に進むことができます。この納品書をワンタッチで入力を可能にするために開発したのが「QR コード」 [6][11] なのです。

この QR コードを全ての納品書 (取引伝票) に印字することによって (図 3)、ワンタッチでデータの入力が可能となり、コンピュータがフル活用され製造業の DX の急発進を可能とすることができるようになります。

(2) 現場の作業員が真っ先に喜ぶ DX の実現

この入出荷の現場担当者は、誤品・欠品のチェック作業が重要な使命となっています。これを今までは目視により行ってきましたが、これによりコンピュータがワンタッチでチェックしてくれます (図 4)。受入担当者、出荷担当者の精神的な負担からも解放されることになり、現場としては待ち望んでいた DX といえます。

(3) 工場の内部の DX の推進 (工場管理もデータありきから進展)

納品書の QR コードのワンタッチ読み取りで、工場の入り口、出口での情報化を実現していますが、実は工場内を見ても、どの工程にも入り口と出口があります。これは次工程がお客様であり、それが工場内の工程の間で続いている状態と見て取れます。つまり、工場の中も、QR コードにより情報のワンタッチ入力が実現できれば、作業の開始、完了の実績がリアルタイムで入力でき、DX もどんどん進展してくれるようになるといえます [4][5]。

②ボトムアップ型(現場参画型)システム開発の実現(トップダウン型からの改革)

(1) トップダウン型システム開発 (従来型)

システム開発といえば今までは、トップダウン型、即ち上位側で管理ニーズが決められ、そしてそれに必要なデータは何かを議論し、その結果を現場側に入力を求める形でシステム化がなされ、開発が進められてきました (図 5)。この開発型は現場側に対して管理上必要だから、このデータを入力しなさいと強要され、現場側の反発を招くこともよく起こり得ることもあります。(DX の 2025 年の崖の要因の 1 つ) (図 1-3)

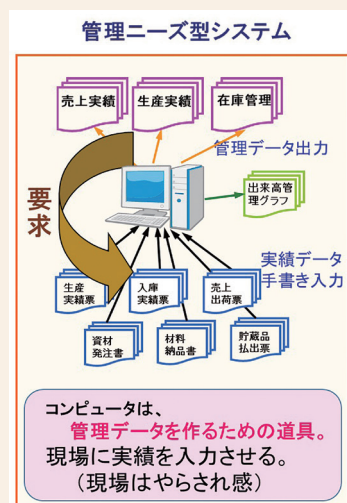
(2) ボトムアップ型のシステム開発の提案

これに対して、ボトムアップ型は、現場で発生している生産情報 (データ) を常時集めている状態を作ることにより、管理側も自由な発想で管理ポイントを掴み、それをシステム化して行く方法が取れるようになります (図 6)。これは、前述したコンビニで行われている POS システムがその例であり、売れた時点をリアルタイムで個々の単位で把握し、その時の情報 (地域、時間、天候) も同時に記録されます。これにより、

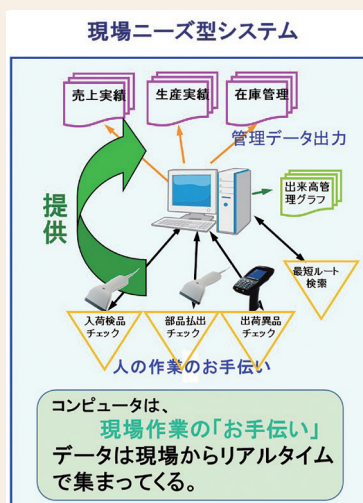
どの地方の次にどの地方で何が売れるようになるか、その場所、時間帯まで把握管理ができるようになってきています。

(3) 製造現場の作業員もシステム開発に参画できる

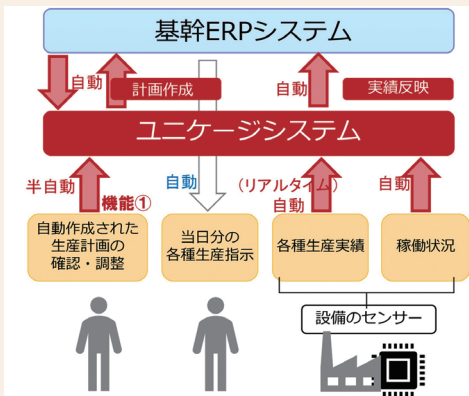
このボトムアップ開発手法は、製造現場においても直ぐにも採用が可能で、成果を上げることができるようになります。それは、先に述べた現場の帳票の全てに QR コードを付けて、それを作業の都度ワンタッチで読み取り、作業結果の良否を判定します。作業員は自分のやったことが確認できるのでほっとでき、自分の作業の道具とみなして喜んで使ってくれます。システム側はそのチェックで使われた生のデータをリアルタイムで取り込んでくることで、今の現場の状況が時々刻々収集できるようになります。



(図5) トップダウン型システム開発



(図6) ボトムアップ型システム開発



(図7) ユニケーシステム

現場の作業員自身も、データがあれば、作業に掛かっている実工数や作業時間間隔を直接見ることができ、自分の作業時間のバラツキも見えてきます。このバラツキは何故かを見付ければ改善に繋げることができます [7][8][9]。

こうしたボトムアップ型で、トップの ERP (Enterprise Resource Planning) まで開発対応できるプログラム開発手法も新たに開発されてきており、その代表としてユニケー手法を紹介します (図 7)[11][12]。このユニケー手法は、現場作業員の作業管理等は現場側でも開発できることを意識している開発手法です。これによってシステム開発も専門部隊だけでなく、現場部門の担当者もシステム開発に携わることが可能となり、システム開発部門の人手不足を補うことも可能となってきています (DX の 2025 年の崖の対策の 1 つ) (図 1-3)。

③ 流れ生産による資金回収速度の劇的改善による経済効果の創出 (トヨタ生産方式の実現)

(1) 日本の制度会計上の利益計算式の問題点

日本の経済の変遷を所得額からみますと、1960 年から 1990 年の 30 年間は所得額が大きく伸び、1990 年から現代に至る 30 年間は伸びが全く無くなっているという大きな変化が見てとれます (図 8)[2]。これは、1990 年以前は消費も好調でしたが、それ以後の最近の 30 年は全く消費の伸びが見られない状況下に大きく変化してきています。

一方、日本の製造業は、制度会計上まとめ生産をしても、在庫品は資産に計上され、1 個当たりの原価は下がることで、P/L 上の利益が確保できる制度から、設備投資をしても大量型生産方式を行ってきています。消費が好調な時代は、それでも在庫品はやがては確実に売れていたため、問題はありませんでした。しかし、この低成長長期の時代では、その在庫品は過剰品となり、投げ売りの憂き目に会う状況になっています。

(2) トヨタ生産方式も素晴らしさを発揮できる (ボトムアップ型 DX)

この対応には、小ロットでも確実に売れる分だけを生産する、流れ生産型のトヨタ生産方式 [3] が最善策と思われます (図 9)。今迄の日本の製造業では、前述の如く大量生産型のまとめ生産方式が主力で行われてきました。しかし、売れ行きの極端に鈍化したこの時代には、この流れ生産方式は救世主とも言える方式と推奨されます。更に、今回の現場の生きたリアルタイムのデータによる DX からのサポートがあれば、現場側からもその導入をスムーズに取り入れてくれるようになります [5][7][8][9]。

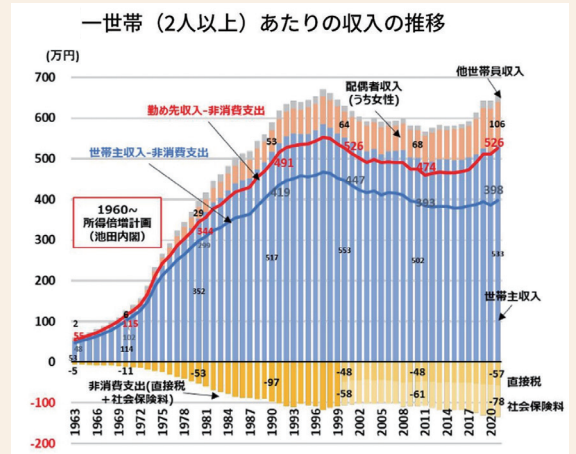
製造業の DX は、今まで現場的には嫌われてきた感がありますが、この DX からの情報の下で営まれる流れ生産方式は、逆に現場からも大歓迎され、更に次項に示す資金繰りも画期的によく、それにより生産量も増やせ、真の利益額も増額する現実が得られることとなります。

(3) SCCC 資金循環速度の大幅な改善による経済指標 (GDP) の大幅な改善

伝票への QR コードの印字と合わせて、上記のトヨタ生産方式の基本でもある「流れ生産方式の導入」により、入荷から製品加工、組み付け、出荷までを途中でのたまりなく、流れで生産することにより、手持品の削減により資金面での停滞も極端に短縮できます。



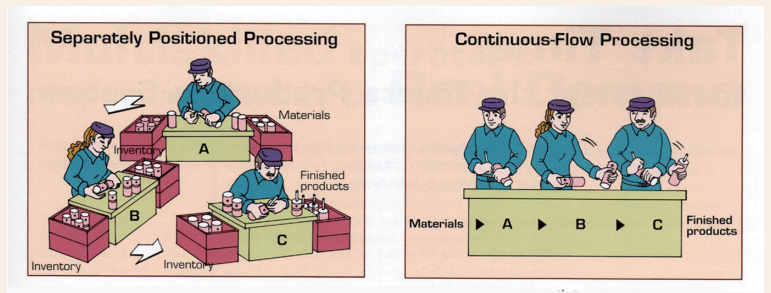
(図10) 資金循環速度 (SCCC)



(出所) 家計調査を基に経済産業省が作成。

(図8) 世帯あたりの収入の推移

提供: トヨタ自動車(株)



(図9) まとめ生産方式と流れ生産方式

それに加えて、入荷品に対しても入荷伝票の入力が、現場側で QR コードによりワンタッチで入力できることから、経理部門も即刻入荷情報を把握でき、仕入れ先への支払い業務も迅速に行うことができるようになります。このことは、今迄、泣き寝入りに近かった月遅れの入金も、大幅な短縮が期待できるようになります。

実は、この入荷品の支払い日数、在庫品の滞留日数、

出荷品の代金受領日数の合計は、資金が寝ている時間とみられ、経済指標において「資金循環速度 (SCCC)(図 10)」として管理の対象に上げられています。因みに、この指標を 5 ヶ年で半減した場合のマクロ経済効果を試算した論文 [13] では、日本全体ではありますが、GDP が年間 55 兆円の増加が見込まれると試算されています。この SCCC 指標は、安倍内閣時代の 2017 年に、FinTech 推進のための KPI として採用された経緯があります。

4. おわりに(名工大(NIT)に期待すること)

私が名工大で新設された経営工学科の第 1 期生として入学し学んだのが、フォード社に代表されるテーラーシステムでした。それはデータを統計的に分析し作業改善を推し進める科学的管理法として、マサチューセッツ工科大学 (MIT) が主体となって纏められ発表されたものが教科書として使われてきました。

しかし、その当時から実はそれを凌駕して、それに勝る手法が日本で生まれていました。それは、たとえ低成長期の時代であっても、高い生産性と、資金を高速に回転させることにより、高付加価値を生み出せる生産方式として考え出されたトヨタ生産方式 (TPS)[3] です。戦後の 1950 年代にはスタートし、自動車産業をずっと支えてきました。この基本思想は、「造ってなんぼ」ではなく、「売ってなんぼ」にあります。さらには、「モノづくり」は「人づくり」とまで、うたわれております。今のこの低成長時期においては、唯一と言える程に素晴らしさを発揮される生産方式といえるものです。この生産方式を立案されたのが大野耐一氏 [3] で、その大野氏とともにトヨタ自動車の生産並びにサプライチェーンで結ばれる全生産工場に展開されたのが、鈴木喜久男氏で、両名とも名工専 (NIT) のご出身です。今、この遅れに遅れてしまっている日本の製造業を救えるのは、前述の如く、このトヨタ生産方式 (TPS) といえます。我々の時代は、フォード社に代表されるテーラー方式を学んできましたが、これからの時代を背負って立つ世代には、このトヨタ生産方式を研究し発展させ、日本だけでなく、世界の製造業を救う方式として広めたいものです。

さらに、それをサポートする DX に向けては、製造業の取引伝票の全てに「QR コード」を印字することで、遅れている DX の推進を図り、情報面でもサポートする体制の確立をいたしたく提案するものです。この「QR コード」[6][10] を開発したのも (小生) NIT の卒業生です。この「TPS」と「QR コード」を軸とした生産方式の進め方は、今後の製造業の拡大発展には、必須と思われる手法ではないかと考えます。過去には、「MIT」の考えが中心となっており、進めてきた感のある生産方式ですが、これからは「NIT」が中心となっており、この考えを進めていきたいと思います。

以上の纏めとしまして、①伝票類の「QR コード」読み取りによるデータにより現場作業者のチェック作業を助け、②そのデータを活用するデータドリブン型ユニケーシング開発手法を確実に進めることにより、工場全体の DX の推進を図り、③そのサポートの上に、生産方式そのものも、この中部が生んだトヨタ生産方式を確実に実践することにあります。

こうして、トータルの DX 推進と生産性の向上、並びに資金の流動化による GDP の向上までを確保する仕組みを作り上げたい。そしてそれを、名古屋工業大学 (NIT) から多くの論文で発信/確立するとともに、多くの卒業生を製造業に送り込んでいきたい。この取り組みにより、まずは日本のモノづくりを世界のトップの座に取り戻すと同時に、さらに世界標準としての経営工学の理論体系を作り上げていきたいと思う次第です。

参考文献

- [1] デジタルトランスフォーメーションに向けた研究会：「DX レポート ～ IT システム「2025 年の崖」の克服と DX の本格的な展開～」、経済産業省、(2018.9.7)、https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/digital_transformation/20180907_report.html (2025.3.25 参照)
- [2] 飯田裕二：「なぜ「失われた 30 年」を止められなかったのか…」 PRESIDENT Online、(2023.5)、<https://president.jp/articles/-/69370> (2025.3.25 参照)
- [3] 大野耐一：「トヨタ生産方式～脱規模の経営をめざして～」、ダイヤモンド社、(1978.5)
- [4] 野村政弘：「バーコードを利用した生産管理システム (POP)」、(月刊バーコード)(1988.10)
- [5] 野村政弘他：「QR コードの開発と生産管理」、日本生産管理学会論文誌、8 巻 2 号、pp.107-112(2002.3)
- [6] 野村政弘他：「QR コードのおはなし」標準化研究会編、(日本規格協会) (2002.4)
- [7] 野村政弘：「トヨタ生産方式におけるバーコードの実用化」、名城論叢、5 巻 1 号、pp.35-51(2004.6)
- [8] 野村政弘：「中部をモノづくりのメッカに」、ごきそ、名古屋工業会会誌、No.403(2005)
- [9] 野村政弘：「取引伝票全てに「QR コード」を～製造業 DX の推進の切り札～」、一般社団法人 SCCC・リアルタイム経営推進協議会、(2025.1.21)
- [10] 小川進：「QR コードの奇跡 ～モノづくり集団の発想の転換が革新を生んだ～」、東洋経済新報社、(2020.2)
- [11] 當仲寛哲：「ユニケーシング開発手法」、ユニバーサル・シェル・プログラミング研究所、<https://www.usp-lab.com/methodology.html> (2025.3.25 参照)
- [12] 當仲寛哲、鬼頭佑治：ESD21 法人会員協業「ユニバーサルプロジェクトのご紹介」、一般社団法人 持続可能なモノづくり・人づくり支援協会、(2019.3.22) <https://www.esd21.jp/news/1ad1cbbf901730a592fd820f80d9f7ad64f117e3.pdf> (2025.3.25 参照)
- [13] 兼子邦彦・河田信：「政策提言：ポスト・コロナ経済 V 字回復 ～「カネの流れ (資金循環速度) 10 倍速」作戦～」、名城論叢、第 22 巻 第 4 号、pp.49-64(2022.3)

本原稿は、2024 年 11 月 16 日 (土) に経友会講演会でご講演いただいた内容を、名古屋工業会の会員向けに加筆・修正したものです。

※「QR コード」は (株) デンソーウェアの登録商標です。

自動車分野で培った知識と知恵を チーム力で活かし、
技術課題と人材育成のソリューションを提供する

- ・**技術支援** ※1 100名のデンソー等メーカー出身者が、企画・開発設計・品質・生産技術・生産まで、技術課題のソリューションをお届けします。例) 設計デザインレビュー支援
- ・**技術研修** ※2 実務経験を活かした80講座を超える技術研修を取り揃え。リスキリングやeラーニングにも対応し、幅広く人材育成を図ります。例) 車載電子部品の信頼性研修

変革期を迎えたモノづくりに貢献する

株式会社 ワールドテック
代表取締役 寺倉 修 (F50)



※1：上場企業30数社や中小企業様まで数多くの支援実績があります。設計思想までを対象とするベンチマーキング業務も承ります。

※2：企業内研修・研修企画会社等のセミナーなど、累計で約1000件以上の研修を実施してきました。オンラインWeb研修にも対応します。

〒460-0008 名古屋市中区栄5丁目28番12号名古屋若宮ビル
TEL: 052-211-7861 E-mail: solutions@worldtech.co.jp
http://www.worldtech.co.jp

- 2025 春号掲載内容 解答 -



答え

ウ チ ュ ウ ヒ コ ウ シ

(宇宙飛行士)

タテの答え

- 1 家系
- 2 姪
- 3 曜日
- 5 識者
- 6 筒
- 7 ペン
- 9 予定表
- 10 詳細
- 12 稚魚
- 14 鳥
- 16 聴診器
- 17 ウォン
- 18 戸棚
- 19 緊張
- 21 ロバ
- 23 現場
- 24 旅券
- 27 金庫
- 28 マウス
- 29 猫
- 30 利器
- 32 夢

ヨコの答え

- 1 亀
- 4 和室
- 8 形容詞
- 11 キッチン
- 13 手拍子
- 14 問い
- 15 野鳥
- 18 取引先
- 20 陰謀論
- 22 投げ売り
- 25 芝
- 26 預貯金
- 29 粘り気
- 31 運休
- 33 金貨
- 34 メス

1	カ	2	メ		3	ヨ		4	ワ	5	シ	6	ツ		7	ペ
8	ケ	イ	9	ヨ	ウ	シ		11	キ	ツ	12	チ	ン			
	イ		13	テ	ビ	ヨ	ウ	シ					ギ			
		14	ト	イ		ウ		15	ヤ	16	チ	ヨ	ウ			
18	ト	リ	ヒ	キ	サ	19	キ			ヨ			オ			
	ダ		ヨ		20	イ	ン	ボ	ウ	21	ロ	ン				
22	ナ	23	ゲ	ウ	24	リ		チ		25	シ	バ				
					26	ヨ	チ	ヨ	27	キ	ン			28	マ	
29	ネ	バ	30	リ	ケ		31	ウ	ン	キ	32	ユ	ウ			
	コ		33	キ	ン	カ		コ			34	メ	ス			